

令和8年度行政評価結果について
(対象:令和7年度実施事業)

令和8年9月
高松市

目 次

I 行政評価結果

1 行政評価の概要	2
(1) 行政評価とは	2
(2) 本市の行政評価	2
(3) 行政評価の仕組み	3
2 令和8年度行政評価の概要	4
(1) 政策評価	4
(2) 施策評価	5
(3) 事務事業評価	6
3 令和8年度行政評価結果の総括	9
(1) 総合評価結果について	9
(2) 市民満足度調査結果について	9
(3) 今後の取組について	9

II 行政評価調書

1 誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	12
2 人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	48
3 魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	73
4 安全・安心に暮らせるまち	109
5 都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	142
6 さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	166

I 行政評価結果

1 行政評価の概要

(1) 行政評価とは

行政評価は、行政サービスの現状と課題を分析することで、改善につなげる手法です。行政活動を評価し（CHECK）、事業を見直し（ACTION）、計画や予算へ反映し（PLAN）、次の事業を実施する（DO）、「PDCAサイクル」を循環することで、効果的・効率的で成果重視の行政運営を推進します。

また、評価の結果を公表することによって、市民への説明責任を果たすとともに、職員の意識改革にも結び付けるものです。

(2) 本市の行政評価

事務事業等を実施するに当たっては、市民に対して、「どのような目標のもと、どれだけのコストをかけて、どのような成果をあげたか」を表すなど、可視化することで、分かりやすく説明するなど、目指すべき都市像の実現に至るプロセスを明確に伝えることが重要であり、同時に、市政運営上、最上位に位置付けられる総合計画を効果的・効率的に推進するため、その施策体系に基づき進行管理を行うことが重要となっています。

本市においては、平成21年度から財務会計と連動した行政評価システムを段階的に導入し、23年度には「高松市行政評価システム基本方針」に基づき、施策評価及び事務事業評価を本格実施し、より広い観点から、まちづくりの進捗状況を客観的な評価項目である成果達成度評価等により把握しながら、更なる事務事業等の改革・改善に取り組んできましたが、方向性評価、環境変化対応評価等について、主観的な色合いの濃い評価結果となっていると捉えられる面もありました。

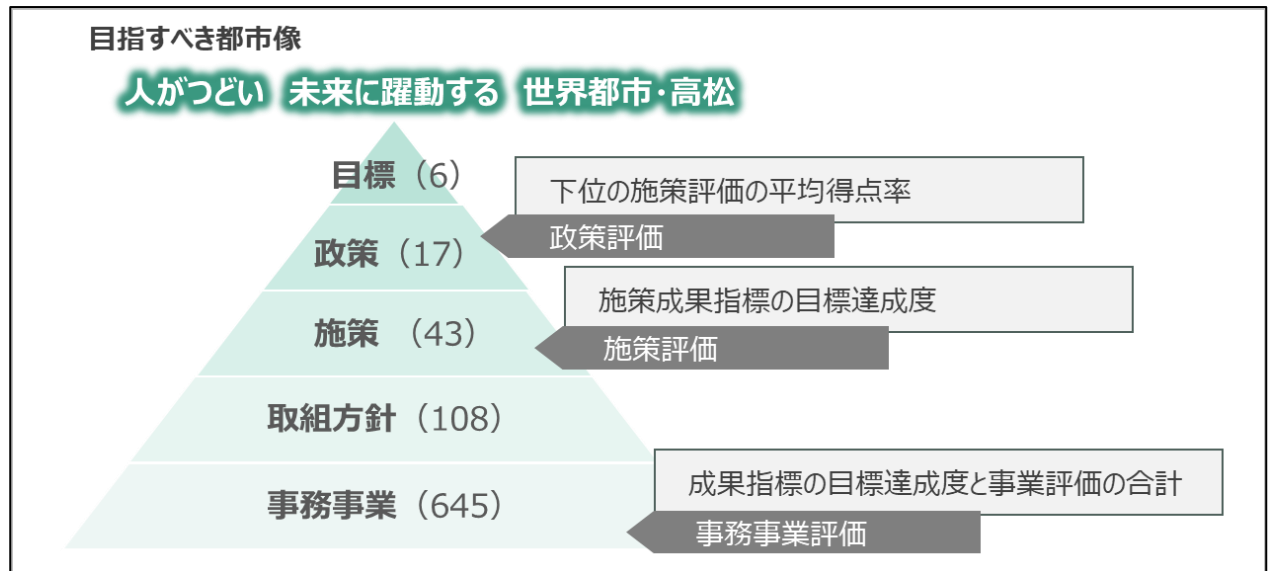
このようなことから、「第6次高松市総合計画」の策定に合わせて、行政評価システムの再構築を行い、①成果に重点を置いた客観的評価の導入、②図やグラフを用いた見やすい評価表の作成、③評価事務の効率化を図りました。29年度からは、この新しい行政評価システムにより評価を実施してきました。

令和5年度には、「第7次高松市総合計画」の策定に合わせて「行政評価基本方針（令和6年度事業実施分～）」を定め、この基本方針に基づいて評価を実施することで、「第7次高松市総合計画」の的確な進行管理を実現します。また、6年度には行政評価システムを更新し、7年度の行政評価から、評価表をより見やすくする等、更に効果的な行政評価を実施しています。

(3) 行政評価の仕組み

「第7次高松市総合計画」は、本市の目指すべき都市像「人がつどい 未来に躍動する 世界都市・高松」を実現するため、6つのまちづくりの目標の下に、政策、施策、取組方針、事務事業の4つの階層によって体系が構成されており、評価はこの体系に基づき、政策から事務事業までのうち、取組方針を除く3つの階層で実施します。

各階層間は、上位と下位が目的（上位）、手段（下位）の関係になっており、上位への貢献度を計ることにより、一元的な行政評価の仕組みを目指します。



2 令和8年度行政評価の概要

(1) 政策評価

ア 評価の対象・評価者

(ア) 対象

第7次高松市総合計画に定める全政策

(イ) 評価者

市長

イ 評価の方法

各政策について、評価者が、関係局と協議・調整を行い、評価を実施し、確定しました。

ウ 評価項目

政策評価は、下位の施策評価結果の集計値を基に、補足評価を加味して総合評価とします。

区分	評価項目
下位の施策評価	下位の施策評価結果（総合評価）の平均得点率
補足評価	施策単体だけでは測れない政策全体の成果を補足

エ 総合評価の評価基準

各評価項目の得点を合計して得点率を算出し、下記の区分に分類します。

得点率	総合評価
80%～100%	A
60%～80%未満	B
～60%未満	C

オ 政策評価の結果は以下のとおりとなりました。

まちづくりの目標	A	B	C	計
誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	3 (3)	0 (0)	0 (0)	3
人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	2 (2)	1 (1)	0 (0)	3
魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	3 (3)	0 (0)	0 (0)	3
安全・安心に暮らせるまち	2 (3)	1 (0)	0 (0)	3
都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	3 (3)	0 (0)	0 (0)	3
さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	2 (2)	0 (0)	0 (0)	2
計	15 (16)	2 (1)	0 (0)	17
割合	88.2% (94.1%)	11.8% (5.9%)	0.0% (0.0%)	100%

※ () 内は前年度評価

(2) 施策評価

ア 評価の対象・評価者

(ア) 対象

第7次高松市総合計画に定める全施策

(イ) 評価者

各施策に置かれる評価担当局の局長

イ 評価の方法

各施策について、評価者が、関係局と協議・調整を行い、評価を実施し、確定しました。

ウ 評価項目

施策評価は、成果指標の達成度を得点化した客観的評価をもって、総合評価とします。

区分	評価項目
成果指標の達成度	施策ごとに設定する成果指標（2指標）の達成度を得点化

エ 総合評価の評価基準

施策ごとに設定する成果指標の達成度を得点化して得点率を算出し、下記の区分に分類します。

得点率	総合評価
80%～100%	A
60%～80%未満	B
～60%未満	C

※得点率の算出

1つの成果指標について、達成度を50点満点で得点化し、その合計で得点率を算出します。

(例)「成果指標① 達成度75.6%」「成果指標② 達成度90.5%」の場合

→ 38点(50点×75.6%) + 45点(50点×90.5%) = 83点
よって総合評価「A」

オ 施策評価の結果は以下のとおりとなりました。

まちづくりの目標	A	B	C	計
誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	7 (8)	1 (0)	0 (0)	8
人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	5 (5)	1 (1)	0 (0)	6
魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	7 (6)	1 (2)	0 (0)	8
安全・安心に暮らせるまち	7 (9)	2 (0)	0 (0)	9
都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	6 (6)	0 (0)	0 (0)	6
さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	5 (5)	1 (1)	0 (0)	6
計	37 (39)	6 (4)	0 (0)	43
割合	86.0% (90.7%)	14.0% (9.3%)	0.0% (0.0%)	100%

※ () 内は前年度評価

(3) 事務事業評価

ア 評価の対象・評価者

(ア) 対象

第7次高松市総合計画に定める事務事業のうち、評価対象外事業を除いた全事務事業

(イ) 評価者

事務事業を所管する局長

イ 評価の方法

各事務事業について、評価者が、評価を実施し、評価表を作成しました。

ウ 評価項目

事務事業評価は、成果指標の達成度を得点化した客観的評価と、妥当性、有効性、効率性の各区分の主観的評価の合計値をもって総合評価とします。

【客観的評価】

区分	評価項目
成果指標の達成度	事務事業ごとに設定する成果指標（最大2指標）の達成度を得点化

※1つの成果指標について、達成度を35点満点で得点化する。

（成果指標が2つの場合は、それぞれの成果指標の得点を合計し、成果指標が1つの場合は、その得点を2倍して合計得点を算出する（合計70点満点）。）

【主観的評価】

区分	評価項目
妥当性評価	市民ニーズや社会情勢を考慮した、事業の目的や手法の妥当性
有効性評価	上位施策目標及び住民福祉の向上への貢献度
効率性評価	費用対効果

※各評価10点満点の合計30点満点の得点とする。

エ 総合評価の評価基準

事務事業ごとに設定する成果指標の達成度を得点化した後、各評価項目の得点を合計して得点率を算出し、下記の区分に分類します。

（【客観的評価】70点満点 + 【主観的評価】30点満点 = 100点満点）

※成果指標の設定ができない場合等については、主観的評価30点満点で評価します。

得点率	総合評価
80%～100%	A
60%～80%未満	B
～60%未満	C

（例1）「成果指標① 達成度85%」「成果指標② 達成度65%」で、主観的評価3項目の得点がそれぞれ「10点、7点、4点」の場合

→ 30点（35点×85%）+ 23点（35点×65%）= 53点

10点 + 7点 + 4点 = 21点

53点 + 21点 = 74点

よって総合評価「B」

(例 2) 成果指標が 1 つで、「成果指標 達成度 85%」、主観的評価 3 項目の得点がそれぞれ「10点、7点、4点」の場合
→ 30点 (35点×85%) × 2 = 60点
10点 + 7点 + 4点 = 21点
60点 + 21点 = 81点
よって総合評価「A」

オ 事務事業評価の結果は以下のとおりとなりました。

まちづくりの目標	A	B	C	計	評価対象外
誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	91 (94)	7 (9)	2 (3)	100 (106)	66 (72)
人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	56 (60)	5 (5)	4 (1)	65 (66)	30 (30)
魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	75 (72)	9 (9)	3 (5)	87 (86)	37 (40)
安全・安心に暮らせるまち	37 (35)	2 (4)	1 (0)	40 (39)	64 (72)
都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	32 (31)	2 (3)	2 (2)	36 (36)	33 (34)
さまざまな主体がつながり、ともに力を発できるまち	22 (26)	3 (0)	1 (0)	26 (26)	61 (73)
計	313 (318)	28 (30)	13 (11)	354 (359)	291 (321)
割合	88.4% (88.6%)	7.9% (8.3%)	3.7% (3.1%)	100%	—

※ () 内は前年度評価

カ 今後の方向性評価の結果は以下のとおりとなりました。

まちづくりの目標	拡充	継続	改善	縮小	統合	完了	休止	廃止	計
誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	6 (4)	88 (95)	6 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	100 (106)
人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	4 (5)	55 (59)	5 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	65 (66)
魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	6 (8)	66 (60)	15 (17)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	87 (86)
安全・安心に暮らせるまち	2 (2)	36 (35)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	40 (39)
都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	5 (5)	27 (27)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (36)
さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	1 (3)	19 (16)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	26 (26)
計	24 (27)	291 (292)	37 (37)	0 (0)	0 (0)	2 (3)	0 (0)	0 (0)	354 (359)
割合	6.8% (7.5%)	82.2% (81.4%)	10.4% (10.3%)	0.0% (0.0%)	0.0% (0.0%)	0.6% (0.8%)	0.0% (0.0%)	0.0% (0.0%)	100%

※ () 内は前年度評価

キ 選定基準

全事務事業のうち、次の基準に該当するものを評価対象外事業とします。

(ア) 内部管理的な事業

a 庁内管理・施設管理的な事業

b 総務、財政、人事、計画の進捗管理、監査等（市役所の機能を維持する上で最低限必要な事業）

(イ) 指定管理制度を導入している事業

(ウ) 廃止・終了を決定又は予定している事業（国から委託された給付金事業など、一定期間限りで終了する事業を含む。）

(エ) 義務的事業

a 法定事業

b 自治事務のうち、法律・政令等の定めにより実施が義務付けられている事業

(オ) その他、各局が評価になじまないと判断する事業

3 令和8年度行政評価結果の総括

(1) 総合評価結果について

どの階層においても、8割以上がA評価となりました。

政策評価では、全17政策のうち、15政策(88.2%)が最高評価のA評価となり、「生涯にわたり学べる社会の実現」及び「安全・安心が守られる社会環境の充実」の2政策がB評価となりました。

施策評価では、全43施策のうち、37施策(86.0%)が最高評価のA評価となり、「地域共生社会の構築」、「家庭・地域の教育力の向上」、「農林水産業の振興」、「安全・安心な暮らしの確保」、「生活衛生の向上」及び「スマートシティの推進」の6施策がB評価となりました。

事務事業評価では、評価対象事業のうち96.3%が比較的高評価のA・B評価となった一方、3.7%がC評価となりました。事務事業の今後の方向性評価については、評価対象事業のうち89.0%が「拡充」・「継続」、10.4%が「改善」となりました。

(2) 市民満足度調査結果について

評価が中程度であるB評価となった6施策について、本市が令和8年5月に発表した「令和7年度市民満足度調査結果報告書」における施策の満足度が、「地域共生社会の構築」は29.1%(全43施策のうち27位)、「家庭・地域の教育力の向上」は29.5%(25位)、「安全・安心な暮らしの確保」は44.4%(4位)、「農林水産業の振興」は24.1%(35位)、「生活衛生の向上」は37.3%(12位)、「スマートシティの推進」は24.7%(33位)となっており、特に、「農林水産業の振興」及び「スマートシティの推進」の満足度は低い結果となっています。

(3) 今後の取組について

今回の結果を踏まえ、各事務事業の施策に対する貢献度や各施策の市民満足度調査における満足度への寄与度を分析するなど、事業の必要性を改めて検討し、成果の向上に向けてスクラップ・アンド・ビルド等を実施していくことが求められます。また、EBPMを実践するほか、PDCAサイクルの運用に加えて、OODA(ウーダ)ループの仕組みを活用し、迅速に質の高い判断を行うとともに、今ある課題に対応するだけでなく、将来の目標を定めて、戦略的にそこへ向かっていくための具体的なアクションをとることも重要であることから、バックキャストとフォーキャストのそれぞれの手法を活用しながら、柔軟な事業展開を実施していく必要があります。

これらの取組をとおして、第7次総合計画に掲げる本市の目指すべき都市像「人がつどい 未来に躍動する 世界都市・高松」の実現に向け、着実に取組を進めていく必要があります。

Ⅱ 行政評価調書

(注)

- 1 政策評価表の「(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値」欄及び施策評価表の「3 市民満足度調査の状況」欄については、当該年度の市民満足度調査結果から、各施策に対する「満足」と「やや満足」を合わせた「満足度」、「やや不満」と「不満」を合わせた「不満度」及び「重要」と「やや重要」を合わせた「重要度」を記載しています。

※(参考) 施策全体の満足度 31.8%、施策全体の不満度 16.3%

- 2 各施策の成果指標は、第1期(令和6~8年度)及び第2期(令和8~10年度)高松まちづくりプランに基づき設定しているため、令和5年度以前については設定がありません。

また、第2期高松まちづくりプランの策定に当たり、一部の施策について成果指標の見直しを行ったため、令和9年度以降の目標値の設定がないものがあります。これらの施策については、令和7年度実施分は見直し前、令和8年度実施分からは見直し後の成果指標により、評価を実施します。

- 3 施策評価表の「3 市民満足度調査の状況」について、第7次総合計画に基づいた市民満足度調査は令和6年度及び7年度実施分であるため、令和5年度の欄は空欄としています。

- 4 施策評価表の「下位事務事業平均」の欄について、配下の事務事業(「6 施策を構成する事務事業の状況」)が全て評価対象外の場合は空欄としています。

※事務事業のうち、内部事務や裁量の余地のない事業など、一定の要件に該当する事業については、評価対象外としています(I-2(3)キ 選定基準のとおり)。

1 誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち

令和 8 年度 高松市政策評価表（令和 7 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	総合評価
	政 策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成	A

1 政策の概要

妊娠期・出産期から子育て期まで切れ目なく、母子の心身の健康を保つための支援と子育てについての悩みや困りごとを身近な地域で気軽に相談できる機会を創出することで、安心して子育てができる環境を整えます。
待機児童を解消し、多様化する幼児教育と保育ニーズに対応できるよう、ハード・ソフト両面での環境整備を推進し、幼児教育・保育サービスの充実を図ります。
子どもの発達段階に応じた健康管理、適切な食事、遊び等の生活習慣の定着への支援を通じて、子どもの心身の健全な成長を促進します。
様々な困難を抱えた家庭の子どもや親が孤立しないよう、地域コミュニティ協議会や子育て支援を行う団体等とも連携しながら、地域の中で安心して生活できる居場所の確保や見守り体制の充実を図ります。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
子育て支援の充実	100%	A
子どもの成長への支援	95%	A
平均	98%	A

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
子育て支援の充実	33.4%	12.1%	78.8%
子どもの成長への支援	30.7%	13.9%	75.9%
平均	32.1%	13.0%	77.4%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

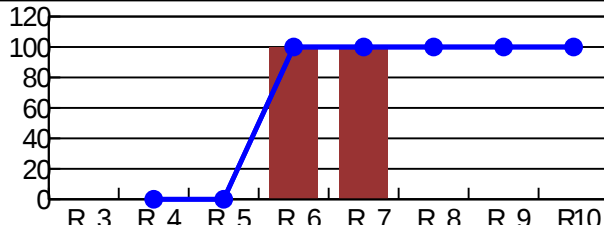
総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	健康福祉局
	政 策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成				課・室名	子育て支援課
	施 策	子育て支援の充実				電話番号	087-839-2354
			A	A			

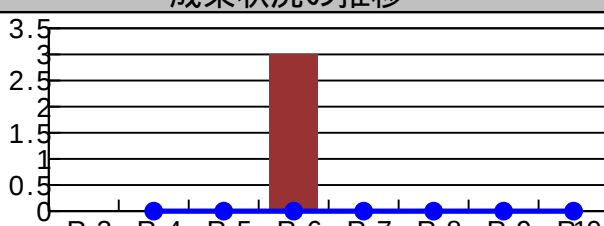
1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市内の子ども及びその保護者

意図（どのような状態にしたいのか）
安心して子どもを産み育てることができるように、妊娠期からの切れ目のない子育て支援や多様な市民ニーズに対応した子育て環境の充実を推進する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目 標 達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	産後2か月までの産婦・乳児に対する相談支援率	%		99.9	99.9	100	99.9%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	こんにちは赤ちゃん訪問事業により、生後間もない乳児がいる家庭を助産師や保健師が家庭訪問し相談支援を実施した。未把握者に対しては、電話や封書による通知等で把握に努め、ほぼ目標を達成することができた。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目 標 達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	保育施設等の待機児童数	人		3	0	0	100.0%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	高松市こども計画に基づき、保育士確保等の取組を推進することにより受入枠の確保に努め、目標を達成することができた。						目指す方向
							↓

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		28位 (23.5%)	17位 (33.4%)
不満度		21位 (20.0%)	36位 (12.1%)
重要度		7位 (76.7%)	8位 (78.8%)

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	21,109,108	29,087,055	34,470,886	33,573,418
人件費	4,047,173	4,191,420	4,390,205	4,397,801
トータルコスト	25,156,281	33,278,475	38,861,091	37,971,219

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
「令和7年版こども白書」（こども家庭庁）によれば、理想子ども数を持たない理由として、経済的負担や仕事への影響が指摘されており、国・県・企業等と連携を図りながら、仕事と子育てが両立できる環境整備を推進していくことが求められている。

施策推進の方向性
令和7年3月に策定した高松市こども計画に基づき、各種施策に取り組むことで、妊娠期からの切れ目のない子育て支援や多様な市民ニーズに対応した子育て環境の充実を推進する。

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針						
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		子育て環境の充実 (1/2)				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
○	保育士確保対策事業	100%	A	継続	待機児童とならなかった人の割合（４月１日現在）	100.0%
	私立保育所等運営支援事業	98%	A	継続	待機児童とならなかった人の割合（４月１日現在）	100.0%
	認可外保育施設支援事業	94%	A	継続	待機児童とならなかった人の割合（４月１日現在）	100.0%
	病児保育事業	98%	A	継続	病児・病後児保育事業利用者数	97.0%
	放課後児童クラブ事業	92%	A	拡充	放課後児童クラブ入会率	98.9%
	保育所・幼稚園等施設整備事業	98%	A	継続	認定こども園対象児童数	100.0%
					大規模修繕実施施設対象児童数	100.0%
	ファミリー・サポート・センター事業	98%	A	継続	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	101.7%
					ファミリー・サポート・センター登録会員数	108.3%
	（評価対象外）公立保育所等管理事業					
	（評価対象外）公立保育所等運営事業					
	私立幼稚園施設型給付事業	94%	A	継続	待機児童とならなかった人の割合（４月１日現在）	100.0%
	（評価対象外）幼稚園管理運営等事業					
	特別保育事業	94%	A	継続	待機児童とならなかった人の割合（４月１日現在）	100.0%
	施設等利用給付事業	98%	A	継続	待機児童とならなかった人の割合（４月１日現在）	100.0%
	子どものための教育・保育給付事業	94%	A	継続	待機児童とならなかった人の割合（４月１日現在）	100.0%

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		子育て環境の充実 (2/2)				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外)乳児等通園支援事業					

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		妊娠期からの子育て支援 (1/2)				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外) 児童厚生施設管理運営事業					
○	不妊治療支援事業	92%	A	拡充	申請者アンケートで経済負担が減り助かると答えた割合	95.8%
	(評価対象外) 児童手当等支給事業					
○	妊娠期からの子育て世代包括支援事業	86%	A	拡充	ハイリスク妊婦支援率	86.1%
	子ども医療費助成事業	87%	A	継続	成果指標設定なし	
	(評価対象外) 児童扶養手当支給事業					
	ひとり親家庭等医療費助成事業	87%	A	継続	成果指標設定なし	
	各種医療給付事業	80%	A	継続	各事業の支給認定(決定)件数	84.3%
	(評価対象外) 健やか子ども基金管理事務					
	母子健康相談事業	94%	A	継続	各事業参加者数	133.9%
	多子世帯保育料等減免事業	98%	A	継続	入所者数	96.6%
	(評価対象外) 香川県ひとり親世帯生活支援特別給付金支給事業					
	こんにちは赤ちゃん事業(新生児訪問指導)	95%	A	継続	母子の状況把握率	99.9%
	(評価対象外) 母子福祉資金等貸付事業				訪問実施率	96.7%

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		妊娠期からの子育て支援 (2/2)				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	ひとり親家庭自立支援事業	94%	A	継続	母子自立支援相談解決件数	103.4%
	(評価対象外) 子育て相談事業					
	母子家庭等就業・自立支援事業	78%	B	改善	債務名義取得促進事業補助件数	60.8%
					家庭生活支援員派遣回数	94.4%
	(評価対象外) 母子家庭等自立支援給付金事業					
	子育て支援対策推進事業	77%	B	継続	ネットワーク会議参加者総数	76.9%
					らっこネットアクセス件数	80.4%
	(評価対象外) 子育て短期支援事業					
	地域子育て支援拠点事業	98%	A	継続	利用者数(子ども)	104.1%
	ひとり親家庭無料職業紹介事業	52%	C	改善	自立支援プログラム策定件数	41.7%
	ひとり親家庭子育て支援事業	98%	A	継続	利用時間数	127.0%
	(評価対象外) 子育て応援手当支給事業					

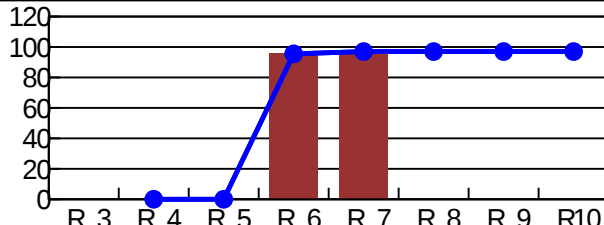
令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

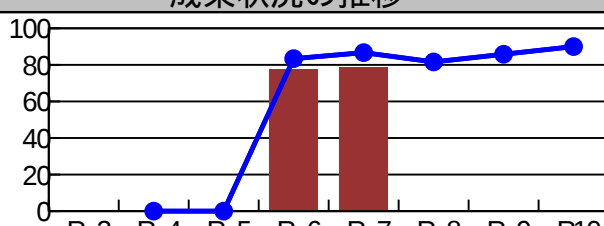
総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	健康福祉局
	政 策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成				課・室名	子育て支援課
	施 策	子どもの成長への支援				電話番号	087-839-2354
			A	A			

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市内の子ども及びその保護者	全ての子どもが、子どもらしく、健やかに成長することができるように、子どもの発達段階に応じた心身の成長への支援や包括的な相談支援、社会全体での見守りを推進する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目 標 達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	1歳6か月児健康診査の受診率	%		96.2	97.9	97	100.9%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	日程変更のWEB予約を導入し利便性の向上を図ったことや、未受診者に対して家庭訪問等での受診勧奨を実施することで、目標を達成することができた。						目指す方向 ↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目 標 達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	身近に子育ての相談ができるところがあると感じている市民の割合	%		77.4	78.5	81.6	90.5%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				45点
	様々な機会を通じて子育ての相談ができる機関等の周知を行ったが、目標達成には至らなかった。						目指す方向 ↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		22位（ 24.7% ）	23位（ 30.7% ）
不満度		16位（ 20.9% ）	29位（ 13.9% ）
重要度		8位（ 76.9% ）	13位（ 75.9% ）

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	847,532	993,457	848,300	1,015,040
人件費	200,597	208,054	199,499	216,691
トータルコスト	1,048,129	1,201,511	1,047,799	1,231,731

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
子どもの健やかな学びを支援するため、子ども一人一人の発達段階に応じた質の高い教育・保育を安定的に提供することが必要である。 また、地域ぐるみでの子育て支援の充実が求められていることから、様々な形態や種類の子育て支援団体との相互交流やネットワークづくり、連携強化などが必要である。

施策推進の方向性
令和7年3月に策定した高松市こども計画に基づき、各種施策に取り組むことで、子どもの発達段階に応じた心身の成長への支援や包括的な相談支援、社会全体での見守りを推進する。

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		配慮を要する子どもへの支援				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	発達障がい児等支援事業	96%	A	継続	発達障がい児等支援員配置率	100.0%
					発達障がい児等受入率（私立保育所等）	100.0%
	（評価対象外）児童家庭相談事業					
	（評価対象外）助産施設運営事業					
	（評価対象外）要保護児童対策事業					
	（評価対象外）母子生活支援施設運営事業					
	医療的ケア児支援事業	94%	A	継続	医療的ケアを実施した児童生徒の保護者からの満足度	102.8%
	（評価対象外）養育支援訪問事業					
○	ヤングケアラー支援事業	87%	A	継続	ヤングケアラー対応率	100.0%
					訪問支援延べ回数	73.8%
	（評価対象外）子育て世帯訪問支援事業					

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		心身の成長への支援				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外)妊婦・乳児及び歯科健康診査事業					
	保育所・幼稚園等への芸術士派遣事業	90%	A	継続	芸術士派遣事業実施施設の満足度	95.0%
	年長児童の赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業	89%	A	継続	ライフデザインを考えるきっかけとなった生徒の割合	84.0%
					乳幼児に関心を持つようになった生徒の割合	91.0%
	(評価対象外)幼児健康診査事業					
	こども未来館わくわく体験事業	100%	A	継続	わくわく体験事業参加者数	214.5%
	子ども・子育て支援事業	100%	A	継続	みんなのひろば・プレイルーム利用者数	153.2%
	こども未来館学習体験事業	98%	A	継続	こども未来館学習参加延べ人数	109.6%
	(評価対象外)こども未来館管理運営事業					
	放課後子ども教室事業	84%	A	拡充	参加児童数	99.4%
					登録児童数	83.2%
	子ども食堂等支援事業	89%	A	継続	子ども食堂箇所数	94.7%
					たかまつ子ども食堂ネットワーク参加団体数	79.3%
	ブックスタート事業	94%	A	継続	ブックスタートパック配布率	95.7%
○	スポーツ士派遣事業	94%	A	拡充	児童の運動習慣の形成につながったと感じた割合	100.0%

令和 8 年度 高松市政策評価表（令和 7 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	総合評価
	政 策	支え合う福祉社会の形成	A

1 政策の概要

地域における福祉ニーズを的確に把握し、相互に支える仕組みを構築できるように、地域福祉の担い手の確保・育成を促進します。
高齢になっても、心身の健康を維持して活動的に暮らせるよう、高齢者の介護予防の取組や社会参画を支援し、介護が必要になった時には、必要な福祉サービスを受けながら、住み慣れた地域で希望を持って暮らし続けられる環境を整えます。
障がいのある市民の就労等を通じた自立を支援し、ライフステージに応じた障がい福祉サービスによる支援や様々な形での社会参画の促進などの取組を推進し、障がい者が自らの能力を最大限発揮し、自己実現できる地域づくりを進めます。
公的保険制度や生活困窮者を支援する制度の充実により、市民が困難な状況に陥った際のセーフティネットを強化します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
地域共生社会の構築	79%	B
高齢者福祉の充実	100%	A
障がい者福祉の充実	100%	A
生活におけるセーフティネットの確保	88%	A
平均	92%	A

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
地域共生社会の構築	29.1%	14.5%	70.1%
高齢者福祉の充実	26.9%	20.6%	75%
障がい者福祉の充実	25.8%	14.8%	68.8%
生活におけるセーフティネットの確保	21.5%	17.3%	59.2%
平均	25.8%	16.8%	68.3%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	総合評価 B	下位事務事業平均 A	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成				課・室名	地域共生社会推進課
	施策	地域共生社会の構築				電話番号	087-839-2372

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
地域福祉の推進や福祉施設の適正な運営に関する各種事業を展開し、みんなで支え合う地域共生社会を構築する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
成果指標	アウトリーチにより地域で課題を抱える人に対応した件数	件		548	521	916	58.5%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				29点
	潜在的な相談者を見つけ、つながりの形成に向けた支援を行うために積極的に地域に向向しているが、目標達成には至らなかった。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
成果指標	共助の体制が構築されている地域の割合	%		27.3	29.5	29.5	108.1%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	地域ブロック別情報共有会等を開催し、活動実施に向けた意見交換を行った結果、目標を達成することができた。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		31位 (22.6%)	27位 (29.1%)
不満度		21位 (20.0%)	26位 (14.5%)
重要度		21位 (67.9%)	19位 (70.1%)

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	6,531,940	5,916,313	2,277,486	2,454,108
人件費	179,820	148,533	195,983	180,149
トータルコスト	6,711,760	6,064,846	2,473,469	2,634,257

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

[illegible]

施策推進の方向性

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		地域福祉を支える環境の充実				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	小規模法人のネットワーク化による協働推進事業	96%	A	継続	ネットワークにおいて実施した事業数	100.0%
	(評価対象外)社会福祉法人指導監督事業					
○	共助の基盤づくり事業	98%	A	継続	共助の基盤づくり事業実施箇所数	102.9%
	(評価対象外)社会福祉事業					
	(評価対象外)法外援護事業					
	社会福祉団体活動助成事業	94%	A	継続	法人成年後見事業受任件数	98.4%
	災害援護事業	92%	A	継続	個別避難計画作成率	93.9%
	若者育成支援推進事業	96%	A	継続	協議会の構成団体数	100.0%
	(評価対象外)民生・児童委員活動支援等事業					
	(評価対象外)令和6年度住民税非課税世帯等生活支援給付金事業					
	(評価対象外)定額減税補足給付金事業					
	(評価対象外)医療・福祉施設等物価高騰対策支援金交付事業					
	(評価対象外)物価高騰生活応援給付金事業					

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成				課・室名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実				電話番号	087-839-2346
			A	A			

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
高齢者等	住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、医療・介護・予防・生活支援・住まいなどが一体的に切れ目なく提供される状態となる。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
成果指標	介護・支援を必要としていない高齢者の割合（自立高齢者率）	%		78.4	78.1	78.8	99.1%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域全体での健康づくりや介護予防等に向けた様々な取組を行ったものの、目標値の78.8%を、0.7ポイント下回り、目標を達成できなかった。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
成果指標	認知症サポーター養成講座受講者数（累計）	人		61,447	64,199	66,700	100.8%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	認知症についての正しい理解・知識の普及のため、地域団体のほか、学校や企業へ出向き、幅広く講座を実施した。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		25位（24.2%）	30位（26.9%）
不満度		18位（20.5%）	6位（20.6%）
重要度		16位（70.6%）	16位（75.0%）

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	2,484,808	2,398,085	2,559,474	2,939,347
人件費	484,214	371,177	477,200	205,336
トータルコスト	2,969,022	2,769,262	3,036,674	3,144,683

施策の推進状況と課題
高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、切れ目のない医療と介護の提供体制の構築を推進するとともに、介護保険サービス基盤の充実、介護予防の推進、地域全体で高齢者を支える体制づくりに取り組んだ。 高齢社会が進展する中、高齢者のニーズの変化などに対応したサービスの提供が求められる。

施策推進の方向性	
引き続き、高齢者一人一人の状況に応じた必要な支援の提供や地域で支え合う社会づくりに取り組む。	

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		介護予防の推進				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	高齢者居場所づくり事業	96%	A	継続	主観的健康感の維持向上率	99.4%
	(評価対象外)介護予防支援事業					
	65歳からのプラチナ世代元気応援事業	84%	A	継続	教室参加前後で、下肢筋力が改善した者の割合	85.0%
	(評価対象外)介護予防推進事業					
	介護予防推進等事業	94%	A	継続	教室参加者のうち週に1回以上運動をしている者の割合	95.9%
	瓦町健康ステーション事業	86%	A	継続	瓦町健康ステーションの年間来場者数	92.4%
取組方針						
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		生活支援サービスの充実と社会参加の促進 (1/2)				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	生活支援・介護予防サービス提供体制構築事業	84%	A	継続	住民主体によるサービスを提供している地区数	80.6%
	(評価対象外)老人保護施設措置事業					
	在宅医療・介護連携推進事業	86%	A	継続	多職種連携構築度評価平均得点	84.3%
	高齢者見守り事業	98%	A	改善	見守り協定締結事業者数	103.0%
	高齢者住宅等安心確保事業	90%	A	継続	生活援助員への相談件数	94.5%
	介護保険補助金等事業	88%	A	継続	離島への介護サービス提供事業所数	92.9%
	介護サービス相談員派遣事業	94%	A	継続	介護サービス相談員が受けた相談件数	136.8%
	軽費老人ホーム事務費補助事業	86%	A	継続	入所者実数	91.4%
	老人福祉施設整備支援事業	24%	C	改善	補助金により整備・改修が行われた老人福祉施設数	0.0%
	地域ケア会議推進事業	96%	A	継続	地域ケア小会議(個別課題)における検討件数	99.3%
	(評価対象外)地域包括支援センター運営事業					
○	地域包括支援センター体制整備事業	90%	A	継続	民間委託を実施したサブセンター数	100.0%
	敬老事業	92%	A	継続	44地域のうち敬老事業を実施した地域の割合	100.0%
	在宅高齢者家族支援事業	92%	A	継続	在宅認定者率(要介護4、5)	104.4%

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	総合評価 A	下位事務事業平均 A	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成				課・室名	障がい福祉課
	施策	障がい者福祉の充実				電話番号	087-839-2333

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）

障がい者及び障がい児

意図（どのような状態にしたいのか）

必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行うことにより、障がい者及び障がい児が自ら選択した場所に居住し、自立した日常生活を送ることができるようにする。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
成果指標	障がい福祉サービス等を活用した人の割合	%		83.6	89.4	83.6	154.1%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	障がい者の地域生活への移行や定着の支援を図るため、基幹相談支援センターが相談支援を継続しているケースについて、障害福祉サービスやその他社会資源を活用した結果、目標を達成することができた。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
成果指標	障害者福祉施設から一般就労への移行人数	人		92	84	86	105.0%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	障がい者の自立支援と社会活動への参加の促進を図るため、地域生活支援拠点等を活用し、福祉施設から一般就労への移行を推進した結果、目標を達成することができた。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		42位 (16.5%)	32位 (25.8%)
不満度		19位 (20.2%)	25位 (14.8%)
重要度		18位 (70.0%)	21位 (68.8%)

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	13,670,022	14,894,013	16,177,551	17,081,321
人件費	240,866	262,480	271,864	271,864
トータルコスト	13,910,888	15,156,493	16,449,415	17,353,185

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
支援の対象となる障がいの多様化に伴い、障害福祉サービスコストの増加が予想されるため、より効果的なサービス提供について検討する必要がある。

施策推進の方向性
障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らし、積極的に社会活動に参加できる地域社会づくりを目指し、より一層、効果的で適切な施策の実施に取り組み、成果の向上を図る。

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		社会活動への参加促進				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	障がい者アートリンク事業	100%	A	継続	アートリンクに参加した障がい者（児）延べ人数	132.3%
	手話言語・障がい者コミュニケーション手段の普及促進事業	100%	A	継続	手話通訳者育成に向けた研修参加者数（累計）	103.7%
	（評価対象外）障害者移動支援等事業					
	障害者地域活動支援事業	92%	A	継続	地域活動支援センター 型事業所の利用者数	94.4%
	障害者福祉タクシー事業	68%	B	改善	タクシー助成券使用率	58.6%
	障害者社会活動支援事業	98%	A	継続	障害者社会参加促進事業における参加者数	105.0%
	福祉のまちづくり推進事業	60%	B	継続	特定施設整備主に対する指導及び助言数	47.5%

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		自立の促進 (1/2)				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	障がい者地域生活支援推進事業	87%	A	継続	障害福祉サービス利用者数	122.9%
					基幹相談支援センター相談件数	85.3%
	障がい者就労支援促進事業	90%	A	継続	「障がい者就労訓練の場」における訓練者数	89.5%
	(評価対象外) 障害福祉サービス給付事業					
	(評価対象外) 障害者自立支援医療事業					
	補装具費・日常生活用具支給等事業	90%	A	継続	補装具給付件数	90.4%
	(評価対象外) 介護給付費等審査会事業					
	(評価対象外) 障害支援区分認定事業					
	障害者相談支援事業	92%	A	継続	障害者相談件数	94.2%
	障害者権利擁護事業	88%	A	継続	成年後見人申立決定人数	85.7%
	障害者手帳交付事業	88%	A	継続	サービス提供による決算額	85.4%
	(評価対象外) 福祉手当支給等事業					
	障害者医療費助成事業	92%	A	継続	受診率	104.5%
	障害児放課後支援事業	96%	A	継続	放課後支援事業利用日数	100.0%
	(評価対象外) 障害者施策推進事業					

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		自立の促進 (2/2)				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外) 障害者福祉施設等運営事業					
	発達障害者サポート事業	100%	A	継続	障害児通所サービス受給者数	135.9%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	総合評価 A	下位事務事業平均 A	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成				課・室名	生活福祉第一課・第二課
	施策	生活におけるセーフティネットの確保				電話番号	087-839-2343

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民（国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険及び国民年金制度の各事業の対象者、生活困窮者）	市民が健やかにいきいきと暮らせるよう、安心して医療・介護・年金を受けられる社会保障制度を適切に運営する。また、生活困窮者に対し、困窮の程度に応じた支援を行い、自立を助長するとともに、最低限度の生活を保障する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	国民健康保険の被保険者 1 人当たりの保険給付費	千円		429	431	431	97.9%
成果指標	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				49点
	特定健康診査等の受診率の向上、重症化予防対策事業等、保健事業に積極的に取り組んだものの、高齢化や医療の高度化などにより、国民健康保険の被保険者 1 人当たりの保険給付費は上昇したため、目標を達成することができなかった。						目指す方向
							↓

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	就労支援をした生活困窮者のうち、就労につながった人、収入が増加した人の割合	%		61	58	75	77.3%
成果指標	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				39点
	生活困窮者に対し、職業理解や自己理解を促して就労支援に取り組んだものの、一般就労を開始した者及び就労収入が増加した者の割合は、令和 7 年度の目標値 75.0% に対して、実績値 58.0% にとどまり、目標を達成することができなかった。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		36位 (19.3%)	39位 (21.5%)
不満度		12位 (23.1%)	15位 (17.3%)
重要度		33位 (58.1%)	33位 (59.2%)

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	76,943,327	118,854,785	120,645,249	126,646,872
人件費	1,103,461	729,308	783,608	823,588
トータルコスト	78,046,788	119,584,093	121,428,857	127,470,460

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題						
【健康福祉局】物価高騰の影響により、今後も生活保護世帯の増加が見込まれることから、ケースワーカー数の適正化など、体制の充実とともに、生活保護に至る前の早期支援のため、地域ネットワークを活用した包括的取組が必要である。国民健康保険・介護保険被保険者の保険給付費抑制のため、生活習慣病予防や介護予防への取組とともに、介護保険料の収納率向上や適正な保険給付、公的かつ的確な要介護（要支援）認定のほか、介護サービスの質向上を始め、見込量の適切な把握に努める必要がある。【市民局】国民年金制度について、更に積極的な周知・啓発に努める必要がある。						

施策推進の方向性						
【健康福祉局】生活困窮者に対して最低限度の生活を保障するとともに、自立助長に取り組む。また、生活困窮者自立支援事業では、個々のニーズに応じた支援を計画的かつ継続的に行う。国民健康保険料の賦課・徴収及び保険給付事務の適正な執行と併せて、各種保健事業に取り組み、国保事業の適切な運営を図る。また、介護保険制度の安定的な運営のため、保険料の賦課・徴収、保険給付や要介護（要支援）認定を適正に行うとともに、介護サービスの質向上を図る。【市民局】広報高松等を通じて国民年金制度を周知するなど、市民の年金受給権確保に努める。						

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		生活困窮者への自立支援の充実				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外)生活困窮者自立支援事業					

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		生活保護制度の適正な運用				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	(評価対象外)中国残留邦人生活支援事業					
	(評価対象外)行旅死亡人等取扱事業					
	(評価対象外)生活保護扶助事業					
	(評価対象外)ホームレス自立支援事業					
取組方針						
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		公的保険制度の適正な運営				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外) 国民年金事務					
	(評価対象外) 介護給付適正化等事業					
	(評価対象外) 介護保険運営事業					
	(評価対象外) 国民健康保険運営事業					
	(評価対象外) 国民健康保険給付事業					
	(評価対象外) 国民健康保険直営診療施設運営事業					
	国民健康保険保健事業	88%	A	継続	特定健診受診者のうち、メタボ該当者及び予備群の割合	93.8%
	(評価対象外) 後期高齢者医療事業					
○	介護人材確保対策事業	100%	A	拡充	指定居宅介護支援事業所数	98.9%

令和 8 年度 高松市政策評価表（令和 7 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	総合評価
	政 策	心身ともに健康に暮らせる社会の実現	A

1 政策の概要

人生 100 年時代を迎える中、年齢を重ねても、心身ともにできるだけ長く健康で暮らすことができるよう、ストレスの解消や十分な休養・睡眠等による心の健康づくりの推進、食事・運動を通じた適切な生活習慣の定着、健診・検診等を通じた健康管理の実施を促進し、生活習慣病の予防や健康寿命の延伸につなげます。

医療人材の確保やかかりつけ医の推奨などを通じた適切な受診の啓発、医療機関間の連携・役割分担により、地域医療を安定的に提供するための体制を維持します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
健康づくりの推進	100%	A
医療体制の充実	100%	A
平均	100%	A

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
健康づくりの推進	31.6%	15.7%	64.4%
医療体制の充実	43%	15.3%	83.4%
平均	37.3%	15.5%	73.9%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	総合評価 A	下位事務事業平均 A	評価担当	局名	健康福祉局
	政 策	心身ともに健康に暮らせる社会の実現				課・室名	健康づくり推進課
	施 策	健康づくりの推進				電話番号	087-839-2363

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	健康づくりを推進し、心身ともに健康で心豊かに生活できる市民が増える。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目 標 達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
健康づくり	運動習慣がある市民の割合	%		43.6	45.5	45.9	125.0%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	健康運動指導士等を派遣する運動教室や研修会の開催などを通じて、運動習慣の定着に努めたことにより、目標を達成することができた。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目 標 達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
健康づくり	自分が健康と感じている市民の割合（主観的健康観の維持向上率）	%		82.8	85.1	85	106.4%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	特定健診、がん検診等を実施したほか、栄養指導や食育推進、健康・こころの相談などの各事業を効果的に実施したことにより、目標を達成することができた。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		26位 （ 24.1% ）	21位 （ 31.6% ）
不満度		17位 （ 20.7% ）	20位 （ 15.7% ）
重要度		31位 （ 60.7% ）	26位 （ 64.4% ）

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	757,980	688,279	687,194	686,566
人件費	347,101	338,136	350,228	318,244
トータルコスト	1,098,956	1,026,415	1,037,422	1,004,810

施策の推進状況と課題	
健康教室やこころの相談支援などによる健康づくりの推進、食事、運動を通じた適切な生活習慣の定着、特定健診、がん検診等を通じた健康管理の実施を促進した。	
今後は、一層、関係機関と連携し、生活習慣病の予防や、健康寿命の延伸に努める必要がある。	

施策推進の方向性
人生１００年時代を迎える中、令和７年３月に策定した第３次高松市健康都市推進ビジョンに基づき、医療・福祉関係機関等と連携しながら、「誰もが自分らしく心身ともに健やかに暮らせるまちの実現」を目指して、更なる健康づくりの取組を推進していく。

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		健康増進のための環境整備 (1/2)				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	自殺対策推進事業	90%	A	継続	健康教育の参加者数	333.6%
					ひきこもりサポーターが訪問支援した人数	83.3%
	骨髄等移植ドナー支援事業	94%	A	継続	高松市のドナー登録者数（市と県の人口割合にて算出）	101.5%
	地域保健推進事業	92%	A	継続	研修会等参加者の満足度	101.9%
	（評価対象外）栄養改善指導事業					
	（評価対象外）国民健康・栄養調査事業					
	（評価対象外）保健統計調査事業					
	（評価対象外）保健センター管理運営事業					
	保健活動事業	92%	A	継続	参加者の満足度	101.9%
	（評価対象外）原爆被爆者健康診断事業					
	精神保健福祉普及啓発・相談事業	66%	B	継続	精神保健相談のうち新規相談件数割合	61.3%
	精神障害者社会復帰支援事業	94%	A	継続	デイケア参加者延べ数	104.3%
	難病患者地域支援ネットワーク事業	90%	A	継続	事業参加者の満足度	100.6%
	（評価対象外）庵治ほっとぴあん運営事業					
	（評価対象外）保健所管理運営事業					

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

令和 8年度 高松市施策評価表（7年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	総合評価 A	下位事務事業平均 A	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	心身ともに健康に暮らせる社会の実現				課・室名	保健医療政策課
	施策	医療体制の充実				電話番号	087-839-2860

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民、市内の医療機関	市民が安心して暮らすことができる環境づくりを推進するため、安定した医療提供体制を整備する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
成果指標	立入検査を行った医療施設のうち、違反が認められた施設の割合	%		30	13.1	22	147.6%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	令和5年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響により、検査件数を大幅に縮小していたが、6年度からは、コロナ以前の水準と同程度の検査を実施した。その結果、医療機関からの検査項目に関する問合せが増加するなど、立入検査に対する意識の向上が見られ、違反率が低下した。						目指す方向
							↓

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
成果指標	地域医療機関からみんなの病院への紹介率	%		81	82	75	109.3%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	地域医療支援病院として、医師の同行による地域医療機関への訪問や地域医療連携カンファレンス、セミナー等の症例検討会を通じて、顔の見える関係を築き、スムーズな連携・受入れを行うことにより、目標を達成することができた。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		6位（37.9%）	6位（43.0%）
不満度		10位（24.0%）	22位（15.3%）
重要度		5位（80.0%）	3位（83.4%）

4 施策に係るコスト

（千円）

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	7,896,332	7,767,637	8,476,842	8,670,927
人件費	4,459,844	4,427,702	4,589,359	4,946,269
トータルコスト	12,356,176	12,195,339	13,066,201	13,617,196

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

【健康福祉局】休日における初期救急医療の提供について、休日が長く続く時期や感染症の流行期等において、支障が生じないような体制を確保する必要がある。また、災害時の医療救護体制については、より実効性のある体制づくりに取り組む必要がある。

【病院局】救急患者の積極的な受入れや、地域の医療機関との連携強化などにより、新規患者の更なる獲得を図るとは、早期かつ確実に整備を進める必要がある。また、附属医療施設については、早期かつ確実に整備を進める必要がある。

施策推進の方向性

【健康福祉局】休日における初期救急医療の提供については、高松市医師会等、関係機関と連携しながら、体制の確保に努める。また、災害時の医療救護体制については、災害医療コーディネーター等と連携しながら、実践的な訓練・研修に取り組む。

【病院局】高度医療に対応した環境づくりに努めるとともに、引き続き、災害時や感染症への平時からの取組や救急患者の積極的な受入れ、また、がん医療に重点的に注力するなど、良質な医療の提供と経営の健全化に取り組む。

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		市立病院の充実				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	【企業会計】高松市立病院運営事業	94%	A	継続	みんなの病院の経常収支比率	97.9%
					みんなの病院の修正医業収支比率	96.1%
○	【企業会計】附属医療施設（塩江分院）整備事業	100%	A	継続	附属医療施設整備進捗率	100.0%
取組方針		地域医療体制の充実				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	（評価対象外）薬事監視指導事業					
	災害時医療救護事業	96%	A	継続	備蓄医薬品のうち有効期限内である医薬品の割合	100.0%
					医療救護活動の実施率	100.0%
	医療安全推進事業	94%	A	継続	相談者の納得度「納得した」の割合	130.5%
	医師等確保支援事業	92%	A	継続	看護師等養成所卒業生の資格取得率	98.0%
					産科医等確保支援事業補助金助成施設の分娩件数	86.7%

2 人を育み、多様な生き方が尊重されるまち

令和8年度 高松市政策評価表（令和7年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	総合評価 A
	政 策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実	

1 政策の概要

子ども一人一人の良さを伸ばす指導とデジタルデバイス等の機器・設備の活用により、社会情勢の変化や新たな課題への対応を主体的に考え、他者の立場や考えを尊重し、協調しながら解決することができる力を身に付けられる教育を推進します。

学校だけでなく、地域住民との連携・協働により、子どもが快適で安全に教育を受けられる環境をハード・ソフトの両面で整備し、子どもの安全の確保や子ども一人一人の特性に応じた教育を推進します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
学校教育の充実	92%	A
学びを支援する教育環境の充実	100%	A
平均	96%	A

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
学校教育の充実	37.6%	11.9%	81.9%
学びを支援する教育環境の充実	36.4%	16.7%	82.4%
平均	37.0%	14.3%	82.2%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実				課・室名	学校教育課
	施策	学校教育の充実				電話番号	087-839-2616
			A	A			

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市内の児童生徒、学校、家庭及び地域

意図（どのような状態にしたいのか）
教員の資質の向上と教育指導体制の充実を図り、子どもの確かな学力、豊かな心と体を育成するとともに、学校・家庭・地域が、その役割を十分に担い、相互に連携して学校教育を充実させる。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	学校に行くのが楽しいと思う子どもの割合	%		76.4	79.3	77.6	102.7%
成果指標	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	誰一人取り残さず一人一人が輝く教育を目指し、児童生徒の多様な考えを受け入れるような学級の支持的風土の醸成や、ICT機器を活用し、個別最適な学びや協働的な学びの充実に取り組むなど、安心して楽しく学べる学校づくりに努めることにより、目標を達成することができた。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	児童が体育の授業以外で運動する時間（1日当たり）	分 / 日		57.1	53.5	64	84.9%
成果指標	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				42点
	授業の中で児童が体育好きになるような取組を実践しているものの、運動する子、しない子の2極化が進んでおり、全体では運動時間は減少した。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		9位（34.7%）	9位（37.0%）
不満度		39位（14.3%）	37位（11.9%）
重要度		4位（81.8%）	5位（81.9%）

4 施策に係るコスト

（千円）

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	4,069,075	4,564,310	4,725,303	5,039,918
人件費	602,919	639,215	678,698	696,451
トータルコスト	4,671,994	5,203,525	5,404,001	5,736,369

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

本施策については、日々教育活動を支え、充実させる取組の充実に、さらには、確かな学力の定着や個性と創造性を伸ばす教育を一層進めるため、「分かる授業」を創造し、授業力を向上させる具体的な取組が、地域や家庭で挙げられる。

放課後の時間のみでは、時間、空間、仲間に限られるために、目標値に届かないことも想定される。そのために、休み時間などの児童が学校にいる時間の活用推進を図っていく必要がある。

施策推進の方向性

学校・家庭・地域の連携を基本に子どもの健全な育成を推進するとともに、教育環境の変化に対応した特色ある教育内容・方法の開発や学習環境の整備に取り組み、学校教育の充実を図る。

業を授け、運動に積極的に参加できるように指導する。また、授業の進度や内容、教材の準備など、授業の準備・進行・評価の各段階において、児童の学習状況や理解度を把握し、必要に応じて指導方法を調整する。また、授業の準備・進行・評価の各段階において、児童の学習状況や理解度を把握し、必要に応じて指導方法を調整する。

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		確かな学力と個性を伸ばす教育の推進				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
○	外国人児童生徒等支援事業	100%	A	拡充	帰国児童等の学校生活への適応率	100.0%
	学校教育推進事業	100%	A	継続	総合的な学習の時間における地域人材活用率	100.0%
	(評価対象外)教材整備事業					
	教材研究等事業	92%	A	継続	高松市立小中学校教職員への配布率	100.0%
	教育相談・教育支援委員会開催事業	94%	A	継続	教育相談に参加した保護者からの満足度	111.1%
	(評価対象外)高等学校教育指導事業					
	英語教育推進事業	88%	A	継続	外国語指導助手(ALT)配置率	100.0%
					英検3級相当の英語力を有する中学3年生の割合	113.8%
	高等学校教材研究等事業	96%	A	継続	国公立大学の合格率(過年度生含む)	111.8%
	児童生徒副読本支給事業	92%	A	継続	児童生徒副読本配布率	100.0%
	高等学校英語教育推進事業	96%	A	継続	国際文科コース卒業生国公立大合格率(過年度生含む)	100.0%
	(評価対象外)学校教育管理事業					
	特別支援教育推進事業	98%	A	拡充	特別支援教育支援員配置率	100.0%

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 (1/2)				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	不登校対策事業	88%	A	継続	90日以上の欠席児童生徒が専門機関に関わる割合	85.3%
	教育文化振興事業	90%	A	継続	発表会、作品展、コンクール等に出品・参加した学校数	127.1%
	学校教育における食育推進事業	75%	B	継続	学校給食における県産食材使用率	107.3%
					食育セミナー開催回数	50.0%
	いじめ等対策事業	96%	A	継続	小学校におけるスクールカウンセラーへの相談件数	128.3%
	(評価対象外)教育委員会事務					
	(評価対象外)学校保健推進事業					
	児童生徒指導推進事業	98%	A	継続	スクールソーシャルワーカーによる支援件数	219.6%
	(評価対象外)給食調理場管理運営事業					
	(評価対象外)日本スポーツ振興センター負担金事業					
	学校給食推進事業	94%	A	継続	研修参加率	97.9%
	(評価対象外)学校給食共同調理事業					
	(評価対象外)共同調理給食運搬事業					
	生徒等健康診断事業	86%	A	継続	二次検診の受診率	84.9%
	(評価対象外)給食センター管理運営事業					

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実				課・室名	教育局総務課
	施策	学びを支援する教育環境の充実				電話番号	087-839-2611
			A	A			

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市立小・中学校、高松第一高等学校の児童生徒	児童生徒が、学校において、安全・安心に、健康的で、快適に学習・生活できる教育環境を整備する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	ICTを活用して授業を行っている教員の割合	%		76	95.7	97	100.7%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	GIGAスクール構想により整備した一人一台端末の効果的活用及び小・中学校の全学年の教室に整備している電子黒板の活用推進のため、各種研修の実施や各校の先進的取組の紹介、ICT支援員の派遣等を継続的に行った結果、ICT機器の活用率の実績値は前年度を上回る結果となった。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	大規模災害等を想定した避難訓練を行っている学校の割合	%		87	89.9	82.6	115.0%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	市立小・中・高等学校の管理職を対象に、避難所運営や避難訓練等の防災に関する研修会を実施するとともに、避難訓練の際に、指導主事が指導助言を行うことで、南海トラフ巨大地震等の大規模災害に対する危機意識が高まり、より実効性のある避難訓練等の実施につながり、実績値が目標を上回った。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		12位（ 30.2% ）	13位（ 36.4% ）
不満度		32位（ 16.1% ）	16位（ 16.7% ）
重要度		10位（ 76.0% ）	4位（ 82.4% ）

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	4,122,046	5,411,349	5,019,529	4,980,449
人件費	446,353	669,170	708,446	706,047
トータルコスト	4,568,399	6,080,519	5,727,975	5,686,496

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
国のGIGAスクール構想により整備した児童生徒の一人一台端末を令和8年3月に全数更新したことに伴い、その効果的活用を更に図っていく必要がある。 南海トラフ巨大地震などの大規模災害のリスクが上がっていくことが想定されているため、より実効性のある避難訓練の重要性は、今後も高まっていくことが想定される。その中で万が一の時、一人一人の児童生徒が自分の身を自分で守るための危機回避能力を身に付けるための指導や支援を合わせて行う必要がある。

施策推進の方向性
令和5年度に策定した第2期高松市ICT教育推進計画に基づき、国のGIGAスクール構想によって整備した一人一台端末やICT機器を活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る。 大規模災害等を想定した避難訓練を行っている学校の割合については、第3期高松市教育振興基本計画に基づき、令和13年度までに実績値を100にする。児童生徒に防災についての正しい知識や的確に判断する力、適切に行動できる力を身に付けさせることができるよう、より実効性のある避難訓練の充実を図る。

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		教員の資質向上と教育指導体制の充実				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	特別支援教育体制整備推進事業	92%	A	継続	要配慮児童生徒の特性に応じた指導を行う学校の割合	102.0%
	学校・地域連携システム推進事業	95%	A	継続	学校・地域連携システム組織結成割合	100.0%
					学校評価（家庭や地域との連携・協働）の評価平均得点	97.2%
	（評価対象外）保育所・こども園・幼稚園教職員研修事業					
	（評価対象外）教職員資質・能力向上事業					
	教育に関する調査研究推進事業	92%	A	継続	調査研究の発表の場である教育フォーラムへの参加人数	495.2%
	研究指定校研究推進事業	92%	A	継続	研究指定校等事業の成果をいかしている学校の割合	125.8%
	高等学校教育研究研修事業	98%	A	継続	国公立大学の合格率（過年度生含む）	111.8%
	（評価対象外）教育・保育に関する調査研究推進事業					

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		学校教育施設の充実				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	小・中学校施設老朽化対策事業	90%	A	継続	老朽化対策進捗率	93.9%
	学校給食調理場整備事業	98%	A	継続	ドライ仕様の調理場から給食が提供される学校の比率	100.0%
	(評価対象外) 小学校管理運営事業					
	(評価対象外) 小・中学校校舎等整備管理運営事業					
	(評価対象外) 中学校管理運営事業					
	(評価対象外) 高等学校管理運営事業					
○	小・中学校バリアフリー整備事業	68%	B	継続	バリアフリー整備進捗率	62.6%
○	小・中学校体育館空調設備設置事業	80%	A	継続	体育館空調設備設置進捗率	

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		安全対策と教育機能の充実				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	高等学校ＩＣＴ環境整備事業	92%	A	継続	授業で端末を頻繁に活用している割合	88.9%
○	教育ＩＣＴ整備・活用推進事業	84%	A	継続	週３回以上ＩＣＴ機器を使用した小学校児童の割合	84.9%
					週３回以上ＩＣＴ機器を使用した中学校生徒の割合	79.0%
	遠距離児童・生徒等通学費助成事業	90%	A	継続	通学費補助率	100.0%
	(評価対象外) 学校図書館図書整備事業					
	教育資金支援事業	92%	A	継続	奨学金受給希望者の高等学校等の進学率	100.0%
	(評価対象外) 高等学校図書整備事業					
	(評価対象外) 教育情報通信ネットワークシステム(ＴＥＮＳ)管理運営事業					
	(評価対象外) 就学奨励事業					

令和8年度 高松市政策評価表（令和7年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	総合評価 B
	政 策	生涯にわたり学べる社会の実現	

1 政策の概要

子どもの教育や子どもを取り巻く環境の変化を踏まえた課題を的確に把握し、学校・家庭・地域がそれぞれの資源や強みをいかして連携することで、多様化・複雑化する課題の解決を実現します。

また、できるだけ多くの人々が、子どもの健全育成に関心を持ち、活動に参画するなど、社会全体で子どもを育てる力を高めることができるよう、啓発を行います。

市民がそれぞれのニーズに応じた学びを実現し、その成果を暮らしの様々な場面で活用できるよう、多様な学びや交流の機会を創出します。

また、多様な学習プログラムの提供、オンラインサービスの充実など、生涯学習施設の機能の充実を通じて、全ての市民に開かれた学びの機会を提供します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
家庭・地域の教育力の向上	62%	B
生涯学習の推進	92%	A
平均	77%	B

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
家庭・地域の教育力の向上	29.5%	12.9%	75.5%
生涯学習の推進	23.1%	16.7%	60.3%
平均	26.3%	14.8%	67.9%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	総合評価 B	下位事務 事業平均 A	評価 担当	局名	教育局
	政 策	生涯にわたり学べる社会の実現				課・室 名	生涯学習課
	施 策	家庭・地域の教育力の向上				電話 番号	087-839-2633

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市民（家族に子どもがいる家庭、地域住民）

意図（どのような状態にしたいのか）
学校・家庭・地域がそれぞれの立場から子どもの教育に責任を持ち、相互に連絡・協働しながら、健全な子どもの育成や見守りが行われていることを目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目 標 達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	学校・家庭・地域が連携・協働している小学校の割合	%		85.1	83	97.9	86.7%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				43点
	小学校全校への訪問を通して個々の課題に応じた解決策の提案を行うほか、地域住民、学校関係者等を対象にした研修会を開催し、積極的に普及促進を図ったものの、目標を達成することができなかった。						目指す 方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目 標 達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	市民活動団体と健全育成団体が連携できた地域数（累計）	地域		5	7	24	38.9%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				19点
	地域に対して積極的に呼びかけたものの、計画に対して大きく下回る実績となり、目標を達成することができなかった。						目指す 方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		16位 （ 28.7% ）	25位 （ 29.5% ）
不満度		37位 （ 14.9% ）	32位 （ 12.9% ）
重要度		15位 （ 71.9% ）	15位 （ 75.5% ）

4 施策に係るコスト

（千円）

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	17,360	46,886	48,655	51,192
人件費	38,387	43,232	70,765	72,764
トータルコスト	55,747	90,118	119,420	123,956

施策の推進状況と課題

「家庭教育支援講座」に、対する学校・園から希望に基づき開催回数が増え、減少傾向にあるため、保護者対象として、モデル校をとり組むことに努める。報告書の発行が、令和9年度まで行われる予定である。

施策推進の方向性	
社会における環境変化や市民ニーズを的確に把握した上で、家庭と地域の教育力の向上に向けた取組を効果的に行うことにより、学校・家庭・地域が相互に連携・協働する体制を構築する。	

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		青少年の健全育成の推進				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	子どもの安全確保活動事業	100%	A	継続	「安全・安心なネット利用」講座を受講した保護者の数	218.8%
	少年教育推進事業	94%	A	継続	リーダーとしての自覚が高まった小学生の割合	100.0%
	青年教育推進事業	88%	A	改善	知的障がい者への理解が深まったボランティアの割合	105.7%
					「教室に参加して良かった」と回答した受講生の割合	95.3%
	社会教育団体育成支援事業	88%	A	継続	社会教育団体1団体当たりの平均年間主催事業数	91.5%
	二十歳のつどい開催事業	92%	A	継続	式典に参加して将来への決意を新たにできた青年の割合	99.3%

[illegible]

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

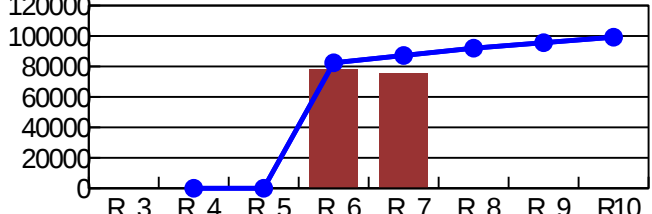
総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	総合評価 A	下位事務事業平均 A	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現				課・室名	生涯学習センター
	施策	生涯学習の推進				電話番号	087-811-6222

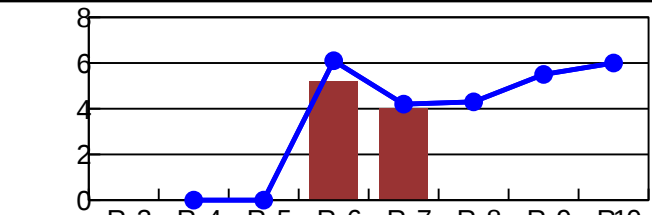
1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
市民一人一人が、それぞれの学習ニーズに応じてスキルアップや学び直しを行っており、また、それぞれの学びの成果を地域課題の解決などに積極的にいかしていることを、目指す姿としている。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
生涯学習センターとコミュニティセンターの講座の参加者数		人		77,976	75,885	92,000	87.0%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				44点
	生涯学習センターでの講座開催回数はやや増加したが、コミュニティセンターでの講座開催回数及び参加者数については減少し、目標を達成することはできなかった。						目指す方向 ↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
市民 1 人当たりの図書館資料の貸出数		冊		5.2	4	4.3	95.2%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				48点
	図書館機能の充実を始め、読書活動推進につながる行事の実施や情報発信に努めたものの、中央図書館の休館に伴い、貸出冊数は目標を達成することができなかった。						目指す方向 ↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		30位（ 22.8% ）	37位（ 23.1% ）
不満度		24位（ 19.7% ）	16位（ 16.7% ）
重要度		27位（ 63.3% ）	31位（ 60.3% ）

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	551,859	699,206	536,976	2,222,255
人件費	294,306	313,200	319,041	311,045
トータルコスト	846,165	1,012,406	856,017	2,533,300

施策の推進状況と課題	
生涯学習センターやコミュニティセンターで実施する講座の開催回数や内容を精査し、地域の実情に合わせた生涯学習の推進を図るとともに、より実践的・効果的なものとする必要がある。	
また、図書館で実施する各種行事や展示等の情報発信を強化し、中央図書館の休館に伴う来館者数や図書貸出冊数の減少を抑える必要がある。	

施策推進の方向性	講座の回数や内容を精査し、改善を加えながら、地域における生涯学習の推進を継続して実施していく。 図書館においては、蔵書の充実など、サービスの向上や各館での居心地の良い空間づくりに努め、市民の読書意欲・学習ニーズ等に応えていく。
----------	---

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		学習施設・機能の充実				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
○	サンクリスタル高松リニューアル事業	94%	A	継続	サンクリスタル高松リニューアル進捗率	100.0%
	(評価対象外)ふれあい創作館管理事業					
	(評価対象外)生涯学習センター管理運営事業					
	図書館運営事業	92%	A	継続	貸出冊数	108.3%
					図書館利用者数	101.1%
	図書館文化活動事業	54%	C	改善	子ども読書まつりの参加者数	42.0%
	(評価対象外)図書館管理事業					
取組方針						
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度

令和 8 年度 高松市政策評価表（令和 7 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	総合評価
	政 策	多様性を尊重する社会の確立	A

1 政策の概要

本市が提供する人権学習の機会だけでなく、学校や企業等における学習の機会を通じて、全ての市民が、多様化・複雑化する人権問題に対する正しい認識と理解を深め、お互いの権利を尊重し合う意識を醸成することで、差別や偏見の解消を図ります。 また、年齢や性別、国籍、障がいの有無にかかわらず、全ての市民が個性と能力を発揮できる社会を構築します。 平和学習の内容の充実や学習方法の工夫により、戦争の記憶を次世代に継承し、世界平和の重要性に対する認識を促進します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
人権尊重・平和意識の普及・高揚	99%	A
誰もが活躍できる環境の形成	81%	A
平均	90%	A

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
人権尊重・平和意識の普及・高揚	32.6%	10%	61.9%
誰もが活躍できる環境の形成	25.9%	12.3%	55.5%
平均	29.3%	11.2%	58.7%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	総合評価 A	下位事務事業平均 A	評価担当	局名	市民局
	政 策	多様性を尊重する社会の確立				課・室名	人権・男女共同参画推進課
	施 策	人権尊重・平和意識の普及・高揚				電話番号	087-839-2292

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	同和問題を始め、様々な人権問題の解決に向け、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現を図る。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目 標
			R 5	R 6	R 7	R 8	達成度
成果指標	人権啓発イベント参加者の人権問題の理解度	%		97.2	97.4	98.7	98.7%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				49点
	人権・同和問題啓発講座の実施方法を見直す等、より効果的な人権意識の普及・高揚に努めているが、目標を達成することができなかった。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目 標
			R 5	R 6	R 7	R 8	達成度
成果指標	平和意識啓発イベント参加者の平和意識の向上度	%		97.3	96.7	97.5	105.6%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	「高松市戦争遺品展」、「小・中学生のための平和講演会」、「原爆展」等の開催により、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和意識の普及・啓発に努めることで、目標を達成することができた。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		19位 (27.3%)	19位 (32.0%)
不満度		38位 (14.7%)	41位 (10.0%)
重要度		29位 (62.0%)	30位 (61.9%)

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	250,287	184,125	263,828	432,679
人件費	247,641	260,164	219,091	217,492
トータルコスト	497,928	444,289	482,919	650,171

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

【市民局】同和問題を始めとする様々な人権問題が今なお解決に至っていないことから、今後とも、市民一人一人が正しい認識と理解を深めることができるよう、なお一層の効果的な取組が求められている。

【教育局】同和問題を始め、様々な人権問題に対し、学校人権教育・社会人権教育の関係組織と連携を図り、市民一人一人の人権教育に対する意識・関心を高めるとともに、今後も、人権教育の充実・発展を強力に推進していく必要がある。

施策推進の方向性

市民一人一人が、あらゆる人権問題に対して、正しい認識と理解を深めることができるよう、各種講座や研修会等を開催し、人権を尊重する社会の実現を推進していく。

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		人権啓発の推進				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	人権啓発推進事業	92%	A	継続	参加人数（人権啓発推進員による啓発事業、講演会等）	115.5%
	隣保館・児童館管理運営事業	90%	A	継続	隣保館利用者数	96.6%
					児童館利用者数	84.3%
	隣保館・児童館整備事業	98%	A	継続	隣保館・児童館改修進捗率（事業費）	106.8%
	L G B T 啓発等推進事業	94%	A	継続	講演会等で理解が深まった人の割合	100.2%
取組方針		人権教育の推進				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	人権啓発活動事業	40%	C	改善	人権啓発イベント参加者数	22.6%
	文化交流推進事業	83%	A	継続	社会教育学級受講者数	110.6%
					ふれあい教室受講者数	79.0%
	子ども教育推進事業	57%	C	改善	子ども学級出席者数	59.5%
					教育相談出席者数	33.4%
	学校人権教育推進事業	96%	A	継続	研修会等参加者人数	153.0%
	社会教育指導員設置事業	98%	A	継続	学習指導等出席者数	114.6%
	社会人権教育推進事業	72%	B	継続	人権教育市民講座受講者数	69.5%
	（評価対象外）人権教育事務					

令和 8年度 高松市施策評価表（ 7年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	市民局
	政策	多様性を尊重する社会の確立				課・室名	人権・男女共同参画推進課
	施策	誰もが活躍できる環境の形成				電話番号	087-839-2292
			A	A			

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	年齢や性別、国籍、障がいの有無にかかわらず、全ての市民が個性と能力を発揮できる社会を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	女性の社会進出が進んだと思う市民の割合	%		75	73.2	80	104.6%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	女性の活躍促進事業を行うなど、男女共同参画への更なる意識啓発を実施したことにより、目標を達成することができた。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	多文化共生が重要と考える市民の割合	%		46	37	64	61.7%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				31点
	市役所窓口での通訳や、案内表示・チラシ等の翻訳のほか、（公財）高松市国際交流協会と協力して行う日本語習得支援事業や、市民と在住外国人が交流できるイベントの実施などにより、在住外国人の生活支援や社会参画の促進に努めたが、目標達成には至らなかった。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		32位（ 21.5% ）	31位（ 25.9% ）
不満度		26位（ 19.5% ）	34位（ 12.3% ）
重要度		32位（ 58.6% ）	39位（ 55.9% ）

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	54,663	62,338	63,858	74,884
人件費	29,731	31,104	31,311	33,311
トータルコスト	84,394	93,442	89,172	108,195

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

【市民局】経済情勢や新たな社会問題から生じる課題に対応しつつ、男女共同参画への更なる意識啓発が必要である。

【健康福祉局】困難な問題を抱える女性等に対し、自立に向けた支援体制の充実を図ることが必要である。

【創造都市推進局】在住外国人が地域の一員として社会参画できる、多文化を共生のまちづくりを推進するため、日本人、外国人双方の住民への意識啓発や市市民同士の相互理解を促進する必要がある。

施策推進の方向性

年齢や性別、国籍、障がいの有無にかかわらず、全ての市民が個性と能力を発揮できる社会に向けて、これまでの取組を継承しつつ、各種啓発活動や相談事業等について、市民参画の手法等も用いながら、総合的・計画的に実施する。

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		ユニバーサルデザインの普及啓発				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	ユニバーサルデザイン推進事業	86%	A	継続	たかまつユニバーサルデザインマップの登録件数	90.4%
取組方針		男女共同参画の推進				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	男女共同参画社会推進事業	88%	A	継続	男女共同参画週間事業に対する満足度（アンケート等）	93.8%
	女性団体育成事業	78%	B	継続	コミュニティ協議会における正副会長のうち女性の割合	83.9%
	（評価対象外）男女共同参画センター管理運営事業					
	（評価対象外）女性相談事業					
	女性の活躍促進事業	96%	A	継続	各種セミナーに対する満足度（アンケート等）	121.8%

3 魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち

令和 8 年度 高松市政策評価表（令和 7 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	総合評価
	政 策	人と活力であふれる産業の振興	A

1 政策の概要

世界経済の変動や脱炭素に向けた取組、デジタル化、人材の確保など、企業に求められるあらゆる変化やその影響への対応を支援し、持続可能な地域経済を構築します。 新しい技術やサービスのアイデアを持つ人々が、本市で起業・創業し、成長を続けるため、関係団体等と連携を図りながら、切れ目のない支援に取り組むとともに、企業の本社機能や研究開発部門、工場等の戦略的な誘致を推進し、雇用機会や新たな活力の創出を図ります。 農林水産業では、生産基盤の整備や生産技術の高度化の支援により、効率的で安定的な生産を促進するほか、担い手の確保・育成や環境負荷低減に向けた取組、適切な資源管理等により、持続可能な生産体制を構築します。 市内事業者に対しては、本市での就職希望者の適切なマッチングの促進に取り組み、人手不足の解消を図ります。 また、多様な人材が活躍できるよう、柔軟な働き方ができる職場環境の整備に関する啓発を行います。
--

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
商工業の振興	93%	A
農林水産業の振興	77%	B
就業環境の充実	83%	A
平均	84%	A

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
商工業の振興	19.4%	20.6%	72.7%
農林水産業の振興	24.1%	24.5%	79.7%
就業環境の充実	21.2%	23%	76.8%
平均	21.6%	22.7%	76.4%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	総合評価 A	下位事務事業平均 A	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興				課・室名	産業振興課
	施策	商工業の振興				電話番号	087-839-2411

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市内の商工業者	意図（どのような状態にしたいのか） 経営の改善・向上を図る。
-----------------------------	-----------------------------------

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	経営状況が安定している事業者の数（法人市民税法人税割の対象法人数）	件		3,845	3,899	3,922	99.7%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	市内中小企業等への補助や融資を通して、成長促進や経営支援に取り組み、前年度より増加したものの、目標を達成することができなかった。						目指す方向 ↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	法人市民税額（法人税割のみ）	百万円		4,489	5,397	5,709	86.4%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				43点
	市内中小企業等への補助や融資を通して、成長促進や経営支援に取り組み、前年度より大幅に増加したものの、目標を達成することができなかった。						目指す方向 ↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		35位（ 19.7% ）	43位（ 19.4% ）
不満度		8位（ 25.4% ）	6位（ 20.6% ）
重要度		20位（ 68.4% ）	18位（ 72.7% ）

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	1,078,848	816,526	1,160,334	1,310,846
人件費	60,529	83,377	95,552	80,520
トータルコスト	1,139,377	899,903	1,255,886	1,391,366

施策の推進状況と課題
本市経済の持続的な発展のため、企業の販路開拓の支援など、市内中小企業の更なる育成と振興を図ることが求められている。 また、地域経済の活性化や雇用の拡大を図るため、新分野への進出など、企業の成長の促進、起業・創業しやすい環境の整備、企業誘致・立地を積極的に推進する必要がある。

施策推進の方向性
人口減少、少子・超高齢化が進行する中、国際情勢の変化に伴う物価高騰やデジタル化、脱炭素化等、本市商工業者を取り巻く環境は、常に変化し続けていることから、引き続き、商工業の振興に取り組む必要がある。

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		中小企業等の育成・振興				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外) 商工振興指導事務					
	中小企業指導団体等育成事業	80%	A	継続	成果指標設定なし	
	中小企業経営講習会等事業	90%	A	継続	講習会等の受講者満足度	117.4%
	中小企業人材確保・就業機会拡大事業	76%	B	継続	就職面接会参加企業の満足度	78.7%
	貿易振興事業	90%	A	継続	高松港外貿コンテナ航路等新規利用促進助成金の助成額	94.0%
	中小企業金融対策事業	92%	A	継続	融資完済進捗率	100.0%
	(評価対象外) 中小企業振興審議会事務					
○	中小企業等成長促進事業	92%	A	継続	高松市中小企業等成長促進事業補助金申請件数	94.0%
	(評価対象外) 中小企業等物価高騰対策支援事業					

令和 8年度 高松市施策評価表（7年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興				課・室名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興				電話番号	087-839-2422
			B	A			

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市内の農林漁業者	市内の農林漁業者の生産販売額の増加を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	市内の農業産出額	億円		142.7	95.8	124.5	77.9%
成果指標	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				39点
	高松市農業振興計画に基づき、担い手農家等による施設野菜・果樹の生産拡大に努めたが、生産者の減少・高齢化や夏期の高温による品質低下等、厳しい生産状況の中、目標を達成することができなかった。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	地元の食材を意識して購入している市民の割合	%		27.3	27	38	75.0%
成果指標	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				38点
	高松市農業振興計画に基づき、地元食材のPR等、地産地消の推進に取り組んだものの、食材の価格高騰により、産地よりも価格を基準に選ぶ割合が高くなったことから、目標を達成することができなかった。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		38位 (18.1%)	35位 (24.1%)
不満度		5位 (27.5%)	3位 (24.5%)
重要度		13位 (74.9%)	7位 (79.7%)

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	2,557,515	2,809,559	3,383,333	3,388,384
人件費	527,643	445,444	459,769	448,574
トータルコスト	3,085,158	3,255,003	3,843,102	3,836,958

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

【創造都市推進局】農林水産業は、担い手の減少、高齢化や原材料価格の高騰により、持続的な生産が困難な状況にある。農業は担い手への集積率が低く、灌漑設備、農道や有害鳥獣の対応が急務である。林業は、森林や林道の管理人材の確保が重要である。水産業は、資源の維持・回復が課題であるほか、卸売市場の適切な維持管理や地産地消に関する情報発信も肝要である。

【農業委員会事務局】農地利用の最適化に向け、担い手の農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消新規参入促進のため、県農地機構等の関係機関との更なる連携強化が肝要である。

施策推進の方向性

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		生産振興と担い手の確保・育成				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
○	スマート農業推進事業	94%	A	拡充	スマート農業導入経営体件数（延べ）	103.0%
	環境にやさしい農業の推進事業	91%	A	継続	中山間地域等直接支払制度取組面積	86.2%
					環境にやさしい農業の取組面積	127.5%
	農業次世代人材投資事業	92%	A	継続	認定新規就農者数（延べ）	106.7%
	農業経営安定対策事業	92%	A	継続	交付対象作物の作付面積	119.7%
					麦作付け面積	99.2%
	担い手への支援・農地集積推進事業	91%	A	継続	担い手農業者数	109.0%
					担い手への農地集積率	92.7%
	農業団体育成事業	90%	A	継続	市内の農畜産物販売額（JA取扱分）	123.0%
○	農福連携推進事業	92%	A	拡充	新たに農福連携に取り組む経営体（延べ）	550.0%
	畜産団体育成事業	94%	A	継続	1戸当たりの乳用牛飼養頭数	133.6%
					1戸当たりの肉用牛飼養頭数	120.1%
	水産団体育成事業	80%	A	継続	生鮮水産物出荷量	80.7%

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		生産体制の充実 (1/2)				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外) 農地利用最適化推進事業					
	(評価対象外) 鳥獣飼養許可等事業					
	土地改良施設管理事業	94%	A	継続	香川用水経常賦課面積	101.1%
	(評価対象外) 農業振興事業					
	(評価対象外) 財産区管理事務					
	有害鳥獣被害対策事業	94%	A	拡充	鳥獣による被害金額	145.0%
	園芸産地育成推進事業	90%	A	継続	野菜・果樹の市内販売金額(JA取扱分)	100.0%
	(評価対象外) 林道施設管理事業					
	畜産振興事業	94%	A	継続	1戸当たりの乳用牛飼養頭数	133.6%
					1戸当たりの肉用牛飼養頭数	120.1%
	(評価対象外) 市有山林管理事業					
	多面的機能支払事業	96%	A	継続	対象農用地面積	108.0%
	漁場保全補助事業	80%	A	継続	生鮮水産物出荷量	80.7%
	森林整備事業	62%	B	継続	間伐実施面積	52.0%
	(評価対象外) 農業委員会事務事業					

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		生産体制の充実 (2/2)				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	林業振興事業	56%	C	改善	分収造林地において造林施策を実施した面積の比率	50.0%
					人工造林地において造林施策を実施した面積の比率	50.0%
	水産振興事業	82%	A	継続	生鮮水産物出荷量	80.7%
	土地改良事業	96%	A	継続	土地改良区受益面積	101.0%
	松くい虫防除事業	90%	A	継続	年間松くい虫被害材積の伐倒駆除事業実施した面積比率	100.0%

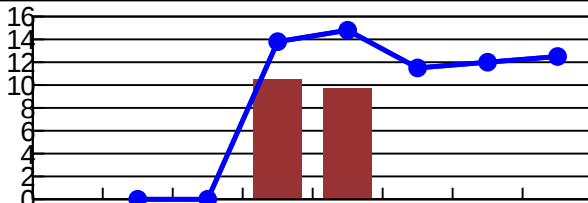
令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

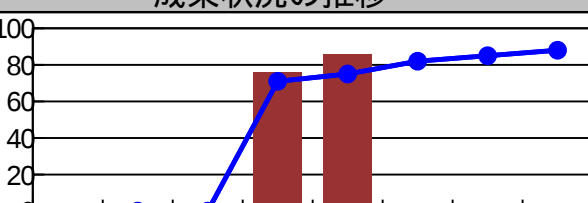
総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	創造都市推進局
	政 策	人と活力であふれる産業の振興				課・室名	産業振興課
	施 策	就業環境の充実				電話番号	087-839-2411
			A	B			

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市内の事業者及び勤労者	市内事業者の就業環境の充実及び勤労者の勤労意欲の向上を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目 標
			R 5	R 6	R 7	R 8	達成度
	正社員の求人数のうち充足された求人の割合（正社員の充足率）	%		10.5	9.7	11.5	65.5%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				33点
	求人数に対し充足された求人の割合としては、目標を達成することができなかった。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目 標
			R 5	R 6	R 7	R 8	達成度
	国が実施する各種制度の認定企業数	社		76	86	82	114.7%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	厚生労働大臣の認定を受けたことがある市内企業の数として、次世代育成支援対策推進法（くるみん）においては65件、雇用・労働女性活躍推進法（えるぼし）では21件が認定され、目標を達成することができた。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		33位（ 21.0% ）	40位（ 21.2% ）
不満度		4位（ 28.1% ）	4位（ 23.0% ）
重要度		11位（ 75.3% ）	12位（ 76.8% ）

4 施策に係るコスト

（千円）

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	308,072	304,768	298,344	287,621
人件費	10,877	8,492	8,796	8,796
トータルコスト	318,949	313,260	307,140	296,417

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

この経済の先行きに、不透明な状況下において、就業環境の充実に、雇用対策の取組んでいくためには、

施策推進の方向性

市内企業の就業環境の向上や優良企業のPRは、勤労者福祉はもとより、企業の人材確保の面でも重要性を増しており、より一層、市の関係部局や国、県、関係機関と連携しながら施策に取り組む必要がある。

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		勤労者福祉の充実				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	中小企業勤労者支援事業	82%	A	継続	住宅資金貸付による持家取得者数	85.2%
	中小企業勤労者福祉共済事業	88%	A	継続	加入被共済者数	96.0%
取組方針						
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度

令和 8 年度 高松市政策評価表（令和 7 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	総合評価
	政 策	地域活力の創造	A

1 政策の概要

地域資源の魅力を再認識して国内外に発信するなど、戦略的なシティプロモーションによる本市の知名度向上に取り組み、より多くの人々が魅力を感じるようブランド力の向上を図ります。
また、本市出身者や居住経験者等、本市にゆかりのある人と継続的につながりを持ち、積極的な情報発信を行うことで、関係人口の拡大を図ります。
香川県や（公財）高松観光コンベンション・ビューロー等の関係機関との連携の下、訪日外国人の関心・ニーズに応える観光商品の開発支援や受入環境の整備を進め、他地域にはない魅力を発信し、より多くの観光客の誘致や地域への経済波及効果が期待できるM I C E誘致を戦略的に推進します。
また、市民レベルの国際交流により、草の根レベルでの相互理解を促進します。
地方移住への関心が高まる中、移住希望者やUターン希望者をターゲットとした暮らしの場としての本市の魅力を発信し、移住・定住人口の拡大につなげます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
高松ブランドの向上	89%	A
観光振興と交流の推進	100%	A
定住人口の拡大	87%	A
平均	92%	A

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
高松ブランドの向上	39.5%	13.4%	69.7%
観光振興と交流の推進	35%	15.5%	64%
定住人口の拡大	23.1%	18.3%	65.7%
平均	32.5%	15.7%	66.5%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

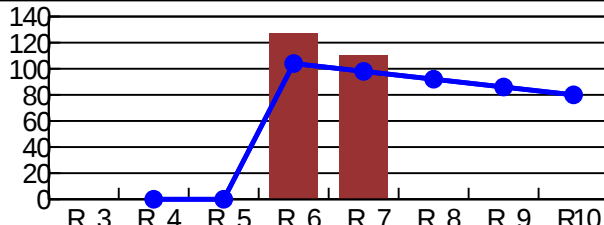
総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	政策局
	政 策	地域活力の創造				課・室名	広聴広報・シティプロモーション課
	施 策	高松ブランドの向上				電話番号	087-839-2161
			A	A			

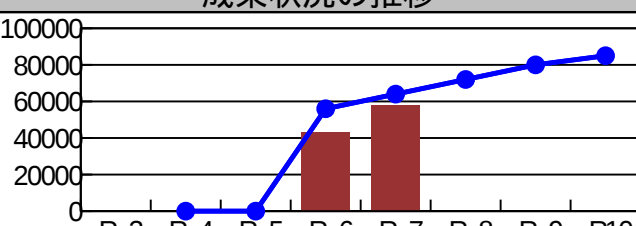
1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市民、関係人口、交流人口、本市に関わる企業や団体

意図（どのような状態にしたいのか）
シティプロモーションの推進及びシビックプライドの醸成に取り組み、本市の知名度及び魅力度の向上を図る。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目 標
			R 5	R 6	R 7	R 8	達成度
	地域ブランド調査における「魅力度」	位		127	110	92	87.8%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				44点
	地域ブランド調査における「魅力度」について、令和6年の127位から110位に前進したが、目標を達成することができなかった。						目指す方向 ↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目 標
			R 5	R 6	R 7	R 8	達成度
	交流拠点施設「高松盆栽の郷」における売上高	千円		43,257	57,624	72,000	90.0%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				45点
	施設の認知度向上や、秋の「高松盆栽の郷フェスタ」等の開催により、前年度と比較して売上げは増加しているものの、大口の売上げが減少傾向にあり、目標が達成できなかった。						目指す方向 ↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		11位 (33.0%)	8位 (39.5%)
不満度		23位 (19.9%)	30位 (13.4%)
重要度		17位 (70.1%)	20位 (69.7%)

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	222,167	324,859	329,061	322,298
人件費	57,733	100,477	107,707	108,945
トータルコスト	279,900	425,336	436,768	431,243

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
「TGC 香川 2025」及び大阪・関西万博等のイベントに参画し、本市の魅力や多様性を国内外にPRしたほか、「高松市シティプロモーション推進ビジョン・ロゴマークPRアドバイザー業務」を実施し、体系的に本市のシティプロモーションを推進するための行動目標の策定に取り組んだ。今後、その行動目標等に基づき、効果的なシティプロモーションの推進を図る必要がある。

施策推進の方向性
本市における人口は、減少傾向が続いていることから、高松市が選ばれるまちとなるため、シティプロモーションの推進は重要性を増しており、継続実施していく必要がある。

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		関係人口の創出・拡大				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
○	関係人口創出・拡大事業	58%	C	改善	オンライン高松ファンコミュニティサイト登録者数	52.1%
	グリーン・ツーリズム推進事業	90%	A	継続	グリーン・ツーリズム年間入込客数	118.9%

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		特産品の育成・振興				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
○	特産品・伝統的ものづくりブランド化推進事業	98%	A	拡充	展示会等来場者数	193.1%
○	高松盆栽産地ブランド確立事業	88%	A	継続	「高松盆栽の郷」売上金額	90.0%
	(評価対象外)盆栽集出荷施設管理運営事業					
取組方針		シティプロモーションの強化				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	「気持ち高まる、高松。」情報発信事業	96%	A	継続	エクスペリエンス高松ページビュー数	140.0%
	誘客促進事業	92%	A	継続	香川県の延べ宿泊者数	105.8%
	共同観光宣伝事業	92%	A	継続	エクスペリエンス高松ページビュー数	140.0%
○	シティプロモーション推進事業	88%	A	改善	市公式ホームページ、市公式観光サイトへのアクセス数	94.1%
	観光客誘致宣伝事業	94%	A	継続	エクスペリエンス高松ページビュー数	140.0%
○	官民共創推進事業	94%	A	改善	東京事務所等の活動により実現した官民共創の事業件数	166.7%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

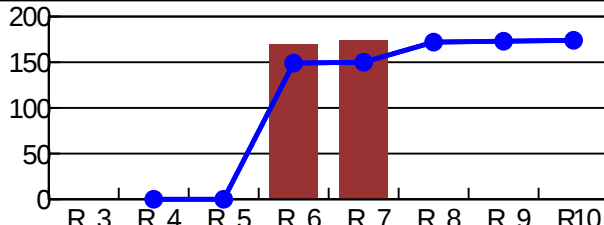
総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	総合評価 A	下位事務事業平均 A	評価担当	局名	創造都市推進局
	政 策	地域活力の創造				課・室名	観光交流課
	施 策	観光振興と交流の推進				電話番号	087-839-2416

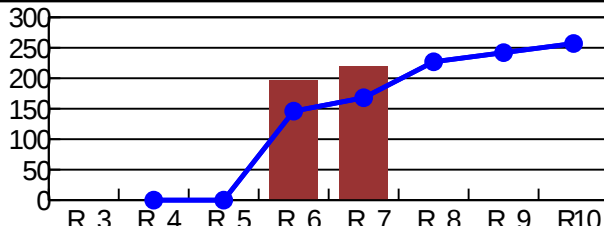
1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
国内外の観光旅行及びM I C Eを予定している人など

意図（どのような状態にしたいのか）
国内外の多くの人に対して本市への認知度や魅力を高めることによって、観光客及び交流・関係人口の増加を図る。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
成果指標	主要観光地の来訪者数	万人		170	174	172	116.0%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	インバウンド観光客の増加もあり、達成度は目標を16ポイント上回った。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
成果指標	M I C E の開催件数	件		197	220	227	131.0%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	誘致を継続して行った結果、達成度は目標を31ポイント上回った。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		12位（ 30.2% ）	15位（ 35.0% ）
不満度		28位（ 17.8% ）	21位（ 15.9% ）
重要度		26位（ 64.8% ）	27位（ 64.0% ）

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	715,121	643,732	1,047,170	1,245,651
人件費	151,894	171,588	181,535	165,276
トータルコスト	867,015	815,320	1,228,705	1,410,927

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

地域が一体となり、持続可能な観光事業の創出及び実施を積極的に促していく必要がある。特に、屋島活性化については、屋島活性化基本構想に基づき、新たな価値や魅力を創出する各種取組を展開した。

また、塩江温泉郷活性化については、塩江道の駅エリア整備事業の実施に当たり、連携強化や組織の横断的連携を図りながら、課題解決に努め、早期の完成を目指す。MICEについては、高松市MICE振興戦略に基づき、地域一帯でMICE誘致及び受入環境整備を推進する必要がある。

施策推進の方向性

M I C Eにおいては、高松市M I C E振興戦略に基づき、関係者と連携したM I C E誘致を推進する
とともに関係人と始め、独自の環境整備を図る。また、本市の地域活性化を図るため、適切な提供等を行う。この際、県民生活の向上を図るとともに、観光客の増加による経済効果の最大化を図ることを目指す。

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		観光資源の掘り起こしと磨き上げ				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	高松城跡（玉藻公園）をいかした観光振興事業	90%	A	拡充	高松城跡（玉藻公園）入園者数	113.9%
○	温泉をいかした塩江地域の観光振興事業	98%	A	継続	塩江温泉郷観光入込客数	125.8%
○	屋島活性化推進事業	78%	B	継続	屋島山上入込客数	77.1%
	観光イベント振興事業	80%	A	改善	まつり・イベント入込客数	80.9%
○	観光プロモーション事業	96%	A	改善	広告配信クリック率	101.0%
○	観光コンテンツ造成推進事業	96%	A	継続	香川県の延べ宿泊者数	105.8%
	（評価対象外）温泉水給水事業					
取組方針						
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		おもてなし環境の充実				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	観光客受入環境整備事業	90%	A	改善	エキスペリエンス高松ページビュー数	140.0%
	(評価対象外) 鬼ヶ島おにの館管理運営事業					
	男木島灯台資料館管理運営事業	74%	B	改善	施設利用者数	69.1%
	(評価対象外) 塩江湯愛の郷センター管理運営事業					
	(評価対象外) 旧太鼓の鼻オートキャンプ場等管理運営事業					
	(評価対象外) 純愛の聖地庵治・観光交流館管理運営事業					
	(評価対象外) 香南楽湯管理運営事業					
	観光ボランティアガイド育成事業	96%	A	継続	高松城跡(玉藻公園)入園者数	113.9%
	(評価対象外) 道の駅源平の里むれ管理運営事業					
	香南地域の道の駅に係る官民連携再整備事業	93%	A	継続	地域振興施設整備進捗率	

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	総合評価 A	下位事務事業平均 A	評価担当	局名	政策局
	政 策	地域活力の創造				課・室名	地域活力推進室
	施 策	定住人口の拡大				電話番号	087-839-2143

1 施策の目的

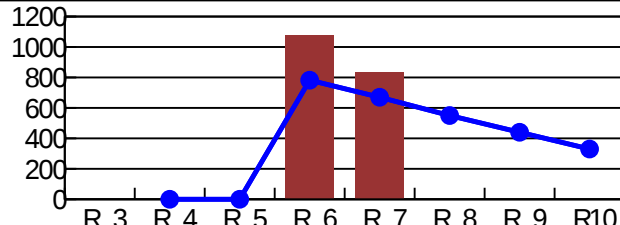
対象（誰、何を対象としているか）

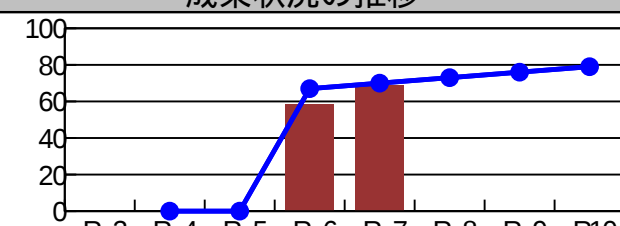
市外に居住しており、地方への移住を考えている人や、県外の大学等に進学した本市出身の若者

意図（どのような状態にしたいのか）

「住みやすい、働きやすい、子育てしやすい」という本市の魅力が全国で認知され、移住者やUターン就職者が増加するとともに、本市で暮らす誰もが住み続けたいと思えるまちを目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目 標 達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	20～39歳の県外への転出超過数	人		1,077	832	550	75.8%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				38点
	県外からの転入者は前年より増加し、県外への転出者は前年より減少したものの、県外への転出超過傾向は変わらず、目標を達成することができなかった。						目指す方向 ↓

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目 標 達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	居住3年未満で50歳未満の市民の定住意向	%		58.5	68.6	73	98.0%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				49点
	昨年度よりは定住意向の割合が上昇したものの、全国的に地方から人口が流出する中、本市においても若年層が大都市圏に流出するなど、若年層の県外転出の意向が見られることから、目標を達成することができなかった。						目指す方向 ↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		39位（ 18.0% ）	37位（ 23.1% ）
不満度		9位（ 25.1% ）	12位（ 18.3% ）
重要度		24位（ 65.1% ）	24位（ 65.7% ）

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	38,565	33,596	39,982	24,243
人件費	21,075	27,792	25,107	17,911
トータルコスト	59,640	61,388	65,089	42,154

施策の推進状況と課題
大都市圏における移住相談体制の構築や、お試し移住支援などによる移住の促進、奨学金返還支援のほか、新たなＵターン就職の働き掛けなどの定住の促進に取り組んだ。 しかしながら、若年層を中心に大都市圏へ人口が流出していることから、大都市圏在住者に向けた移住の促進や、市内出身の若者のＵターンにつながる取組の更なる推進が必要である。

施策推進の方向性
東京圏を始めとした大都市圏からの移住者の増加を図るとともに、若年層の県外流出に対応するため、シビックプライドの醸成に向けた取組や東京事務所による活動と連携した取組、県や周辺市町等と連携した取組を推進する。 また、社会情勢の変化や国・県の動向を踏まえながら、施策の見直しについて検討を行う。

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

令和 8 年度 高松市政策評価表（令和 7 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	総合評価
	政 策	文化芸術・スポーツの振興	A

1 政策の概要

イベントの開催、文化芸術ホールや美術館等の拠点機能の整備、文化芸術活動への支援等により、市民が鑑賞や実践を通じて文化芸術に親しむ機会を創出・拡大し、市民の暮らしをより豊かで充実したものにします。 また、市民との協働による文化財の保存管理やデジタル技術の活用による文化財情報の発信を通じて、文化財の新たな魅力を創出します。 多様なスポーツ・レクリエーションの場の整備や機会の提供を通じて、市民が年齢や身体の状態にかかわらず、スポーツに親しむことができる環境を創出します。 また、市民参加型スポーツイベントや地元のトップスポーツチームとの交流等を通じて、地域のにぎわい創出やシビックプライドの醸成を促進します。
--

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
文化芸術の創造と継承	91%	A
スポーツの振興	80%	A
平均	86%	A

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
文化芸術の創造と継承	46.9%	8%	57.5%
スポーツの振興	29.2%	16.2%	57.4%
平均	38.1%	12.1%	57.5%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	総合評価 A	下位事務事業平均 A	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興				課・室名	文化芸術振興課
	施策	文化芸術の創造と継承				電話番号	087-839-2636

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
優れた文化芸術に触れる機会の拡充や人材の育成・支援等を行うことにより、市民の自主的・創造的な文化芸術活動を推進する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	文化芸術イベントの参加者数	人		92,113	93,742	93,600	81.5%
成果指標	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				41点
	概ね目標を達成しているが、実績が大きく下がった事業については、実施方法や周知方法を見直し、今後、参加者数が増えるように工夫する。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	文化財施設の入場者数	人		380,861	429,268	370,000	119.2%
成果指標	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	展示内容の充実や積極的な広報活動に努めた結果、目標値を上回る成果が得られた。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		7位 (37.1%)	2位 (46.9%)
不満度		41位 (13.8%)	42位 (8.0%)
重要度		37位 (54.4%)	34位 (57.9%)

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	1,401,017	1,626,381	1,631,406	1,693,431
人件費	314,254	388,006	390,605	371,815
トータルコスト	1,715,271	2,014,387	2,022,011	2,065,246

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
優れた文化芸術に触れる機会の拡充や人材の育成・支援等を行うことにより、市民の自主的・創造的な文化芸術活動を更に推進する必要がある。

施策推進の方向性
令和6年4月に策定した第3期高松市文化芸術振興計画に基づき、（公財）高松市文化芸術財団内に設置した地域アーツカウンシル事務局を中心に、包括的かつ効果的に文化芸術活動を推進していく。

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針						
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		文化財の保存と活用 (1/2)				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外) 四番丁スクエア等管理運営事業					
	史跡石清尾山古墳群保存・整備事業	98%	A	継続	見学者数(累計)	101.5%
	埋蔵文化財公開活用事業	100%	A	継続	埋蔵文化財公開活用事業関連行事参加者数	166.8%
	(評価対象外) 玉藻公園管理運営事業					
	(評価対象外) 史跡讃岐国分寺・国分尼寺跡保存整備事業					
	香南歴史民俗郷土館管理運営事業	82%	A	継続	香南歴史民俗郷土館の利用者数	82.6%
	讃岐国分寺跡資料館管理運営事業	96%	A	継続	讃岐国分寺跡資料館の利用者数	110.1%
	(評価対象外) 文化財保存活用推進事業					
	石の民俗資料館管理運営事業	96%	A	継続	石の民俗資料館の利用者数	109.0%
	(評価対象外) 文化財調査事業					
	歴史資料館教育普及活動事業	87%	A	継続	教育普及活動の受講者数 サンクリスタル学習参加校数	
	玉藻公園整備事業	98%	A	継続	玉藻公園の年間入園者数	113.1%
○	高松城跡整備事業	100%	A	継続	玉藻公園の年間入園者数 披雲閣(大書院)耐震補強工事の進捗率	113.1% 100.0%
	歴史資料館常設展事業	80%	A	改善	展覧会観覧者数 収蔵品システムHPアクセス数	

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		「アート・シティ高松」の推進 (1/2)				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	高松国際ピアノコンクール事業	77%	B	継続	ピアノコンクール入場者数	50.5%
					学校訪問リサイタル実施校数	100.0%
	アート・シティ高松推進事業	92%	A	継続	まちなかパフォーマンス事業観覧者数	110.5%
	(評価対象外) 瓦町アートステーション管理運営事業					
○	高松版文化芸術プラットフォーム構築事業	86%	A	拡充	プラットフォーム関係団体数	92.5%
	(評価対象外) 高松国分寺ホール管理運営事業					
	瀬戸内国際芸術祭推進事業	92%	A	継続	本市会場への年間来場者数	94.9%
					次回瀬戸内国際芸術祭の開催準備進捗率	100.0%
	菊池寛顕彰事業	92%	A	継続	受講延べ人数	115.6%
					文学展観覧者数(文学展、特別講演会等)	
	美術館運営事業	98%	A	継続	高松市美術館主催展入場者数	130.3%
					展覧会鑑賞に満足した人の割合	110.4%
	(評価対象外) 文化芸術ホール管理運営事業					
	デリバリーアーツ事業	82%	A	継続	デリバリーアーツ事業鑑賞者数	86.5%
	菊池寛記念館管理運営事業	87%	A	継続	菊池寛記念館利用者数(常設展、コレクション展)	
	(評価対象外) 文化奨励賞贈呈事業					
	市民文化祭開催事業	94%	A	継続	市民文化祭(アーツフェスタ)観覧者数	114.4%
	美術館資料収集事業	100%	A	継続	高松市美術館コレクション展入場者数	154.2%

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	総合評価 A	下位事務事業平均 A	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興				課・室名	スポーツ振興課
	施策	スポーツの振興				電話番号	087-839-2626

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） スポーツ活動の推進やスポーツ施設の整備を行い、スポーツの振興を図る。
------------------------	---

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	市有スポーツ施設の利用者数	千人		1,955	1,919	2,189	91.5%
成果指標	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				46点
	改修工事に伴う休館の影響により、利用者数は前年度から36,000人程度減少した。						目指す方向 ↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	市民参加型スポーツイベントの参加者数	人		14,001	13,765	20,000	68.8%
成果指標	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				34点
	主催するスポーツ・レクリエーションイベントにおいて、誰でも気軽にスポーツを体験できるよう種目等の見直しを図り、参加者の増加に努めているが、イベントの一つが会場変更となったこと等により、参加者数が前年度より減少した。						目指す方向 ↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		19位 (27.3%)	20位 (29.2%)
不満度		27位 (19.3%)	18位 (16.2%)
重要度		35位 (56.4%)	35位 (57.4%)

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	958,556	1,087,177	1,601,846	2,254,946
人件費	111,325	115,800	119,940	77,161
トータルコスト	1,069,881	1,202,977	1,721,786	2,332,107

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

市民ニーズが多様化する中、市民ニーズの的確な把握に努めるとともに、スポーツ振興の更なる推進のため、これまで以上に行政と市民が協働・連携する方策の検討が必要である。

施策推進の方向性

引き続き、高松市スポーツ推進計画に基づき、スポーツ振興の推進を図る。

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		スポーツに親しむ環境の充実				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	パラスポーツ推進事業	96%	A	継続	パラスポーツの振興に関するイベント件数	115.8%
	市民スポーツ活動推進事業	76%	B	改善	主催 6 大会参加者チーム数	75.8%
	学校体育施設開放事業	86%	A	継続	中学校体育施設開放利用者数（延べ人数）	95.5%
	（評価対象外）スポーツ施設等管理運営事業					

取組方針						
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度

4 安全・安心に暮らせるまち

令和8年度 高松市政策評価表（令和7年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	総合評価
	政 策	災害・パンデミックに強い社会の形成	A

1 政策の概要

国や香川県、関係自治体等との連携により、災害発生時の体制・機能の強化や災害に強い社会基盤の整備などを行い、災害に強いまちをつくります。 また、各地域における防災活動や担い手の確保・育成への支援を行い、地域団体・企業・行政等のそれぞれが、主体的に相互の協力体制を強化することにより、市民の防災意識や防災力の向上を図ります。 感染症についても、国・香川県等の関係機関との平時からの連携や訓練の実施等による対応力の強化に加えて、予防接種を始めとする感染予防対策や市民への情報発信により、感染拡大を防止します。
--

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
防災・減災対策の充実	97%	A
健康危機への対応力の強化	99%	A
平均	98%	A

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
防災・減災対策の充実	30.6%	12.5%	84.2%
健康危機への対応力の強化	40.4%	11.2%	78%
平均	35.5%	11.9%	81.1%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	総務局
	政策	災害・パンデミックに強い社会の形成				課・室名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実				電話番号	087-839-2184
			A	A			

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市民等

意図（どのような状態にしたいのか）
市民等の防災意識を高めるとともに、地域及び国・県等防災関係機関と連携し、防災・減災対策の充実を図る。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	地域における防災訓練の実施率	%		95.5	100	100	100.0%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	令和7年度中に、44地区全ての地域において防災訓練を実施できた。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	地域コミュニティ継続計画の策定率	%		79.5	84.1	100	93.4%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				47点
	44地区中37地区が地域コミュニティ継続計画を策定できている。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		17位（ 28.1% ）	24位（ 30.6% ）
不満度		14位（ 22.0% ）	33位（ 12.5% ）
重要度		1位（ 87.9% ）	2位（ 84.2% ）

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	1,965,082	2,277,323	2,480,267	3,815,707
人件費	287,831	308,931	347,284	332,750
トータルコスト	2,252,913	2,586,254	2,827,551	4,148,457

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
【総務局】令和7年度に実施した災害時の情報伝達システムの在り方についての基礎調査結果を踏まえ、本市に最適な災害時の情報伝達システムの構築を進める。また、消防関連訓練に加え、避難所運営訓練等の地域連携訓練を提案し、実施率の向上を図る。 【都市整備局】大雨の発生頻度が高まっているため、県と連携して急傾斜地崩壊防止事業を推進する。また、住宅・建築物について、国の補助制度を活用し、耐震化を促進する。さらに、鉄道事業者が実施する長寿命化事業の費用の一部を助成し、鉄道施設の長寿命化を推進する。

施策推進の方向性
安全で安心して暮らせる環境整備のため、着実に各事業を継続して実施する。

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		防災・危機管理体制の充実				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外) 防災行政無線事業					
	(評価対象外) 水防対策事業					
	災害時緊急物資備蓄事業	94%	A	継続	備蓄計画に対して確保している物資数の割合	100.0%
	(評価対象外) 防災IoT活用事業					
○	防災行政無線再整備事業	98%	A	継続	整備方針案の作成件数	100.0%

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		地域防災力の向上				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	(評価対象外)防災事業					
	(評価対象外)国民保護推進事業					
	市民防災力向上推進事業	98%	A	継続	ぼうさいまちカフェ年間参加人数 (Web視聴含む)	207.2%
	(評価対象外)地域防災計画 見直し事業					
	地域防災対策事業	98%	A	継続	高松市民防災講演会参加人数(Web 視聴含む)	102.0%
○	自主防災組織等育成事業	92%	A	継続	地域における住民参加型の防災訓練の実 施率	100.0%
取組方針						
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		災害に強い社会基盤の整備				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	【企業会計】浸水対策施設整備事業（施設課分）	98%	A	継続	雨水対策整備率	99.6%
	（評価対象外）漁港施設管理事業					
	（評価対象外）急傾斜地崩壊防止事業					
	（評価対象外）ポンプ場等整備・維持管理事業					
	地震・津波海岸堤防等対策事業	80%	A	継続	津波・高潮関連整備事業の進捗率	79.2%
	鉄道施設安全対策事業	100%	A	継続	長寿命化率（事業費ベース）（累計）	100.0%
	【企業会計】浸水対策施設整備事業（整備課分）	98%	A	継続	雨水対策整備率	99.6%
	（評価対象外）生活排水路整備事業					
	（評価対象外）港湾施設管理事業					
	（評価対象外）河川改良事業					
	住宅建築物耐震改修等事業	92%	A	継続	民間住宅の耐震診断実施済棟数（累計）	89.0%
					民間住宅の耐震改修実施済棟数（累計）	105.0%
	（評価対象外）盛土安全対策事業					

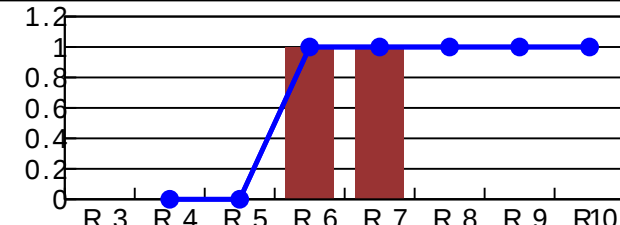
令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

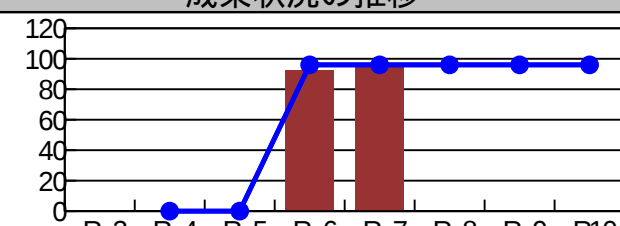
総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	災害・パンデミックに強い社会の形成				課・室名	感染症対策課
	施策	健康危機への対応力の強化				電話番号	087-839-2870

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	市民の生命や健康の安全を脅かす事態に直面した場合においても、迅速かつ適切に対応することができる体制が構築されている。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
成果指標	新興感染症等に対応するための訓練の実施回数	回		1	1	1	100.0%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	新興感染症等に対応するための訓練を実施し、目標を達成することができた。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
成果指標	予防接種率（第2期麻しん風しん混合ワクチン）	%		92.4	94.9	96	98.9%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				49点
	前年度と比較して予防接種率が増加したもの、目標を達成することができなかった。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		5位（ 39.5% ）	7位（ 40.4% ）
不満度		34位（ 15.6% ）	40位（ 11.2% ）
重要度		6位（ 78.8% ）	9位（ 78.0% ）

4 施策に係るコスト

（千円）

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	2,816,388	1,866,149	1,517,965	1,714,301
人件費	203,230	169,840	175,912	175,912
トータルコスト	3,019,618	2,035,989	1,693,877	1,890,213

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
医療機関等と連携し、令和6年3月に策定した高松市感染症予防計画に基づく訓練や研修等を実施することで、健康危機への対応力を強化した。今後、健康危機発生時において、市民の生活を守るために的確な対応が実践できるよう、健康危機管理体制を整備し、平時から備えておく必要がある。

施策推進の方向性
組織横断的な健康危機管理体制の構築及び医療機関や検疫所等の関係機関との連携により、感染症による健康危機への対応力の向上を図る。 また、結核やエイズといった感染症やその予防についての正しい理解を促し、それぞれのターゲット層に合わせた啓発を継続する。

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		感染症の予防・拡大防止				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外) 予防接種事業					
	(評価対象外) エイズ相談事業					
	(評価対象外) 感染症予防事業					
	(評価対象外) 結核予防事業					

令和8年度 高松市政策評価表（令和7年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	総合評価 B
	政 策	安全・安心が守られる社会環境の充実	

1 政策の概要

災害時や緊急時に迅速に対応できるよう、消防・救急体制や車両・機器の整備・更新、地域防災を担う消防団の体制維持を促進し、市民の安全・安心を確保します。

市民が交通事故や犯罪、消費者トラブル等に巻き込まれないよう、警察や防犯協会等の関係機関との連携による啓発や情報提供、各種地域防犯活動への支援を行い、安全・安心に暮らすことができるまちをつくれます。

食品の安全性や衛生環境の適正な管理に対する監視指導や情報発信を通じて、健康被害を未然に防ぎます。

また、動物の適正飼育の推進や香川県、市民活動団体等との連携・協働を強化し、人と動物の調和のとれた共生社会の構築を実現します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
消防・救急体制の充実	96%	A
安全・安心な暮らしの確保	72%	B
生活衛生の向上	65%	B
平均	78%	B

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
消防・救急体制の充実	50.6%	5.7%	81.6%
安全・安心な暮らしの確保	44.4%	14.4%	85.5%
生活衛生の向上	37.3%	11.7%	66.1%
平均	44.1%	10.6%	77.7%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

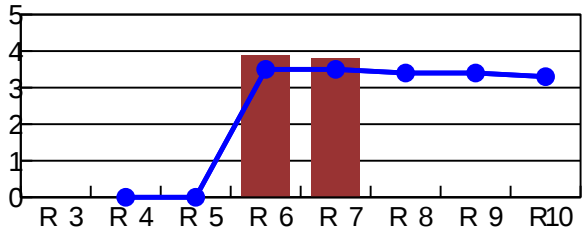
総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	消防局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実				課・室名	消防局総務課
	施策	消防・救急体制の充実				電話番号	087-861-2502
			A	A			

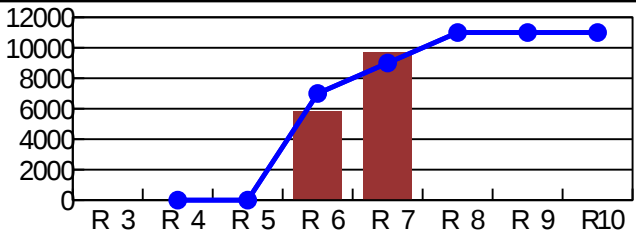
1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行う。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	人口1万人当たりの出火件数（出火率）	件		3.9	3.8	3.4	91.4%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				46点
	林野火災や枯草火災が増加した一方で建物火災が減少したことにより、火災件数は前年比4件の減となった。そのため、人口1万人当たりの出火件数は3.9件から3.8件へ改善することができたものの、目標を達成することができなかった。						目指す方向
							↓

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	救急講習の受講者数	人		5,849	9,675	11,000	107.5%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	ホームページや市公式SNS等を活用して、救急講習の開催情報を積極的に周知したことにより、目標を達成できた。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		1位（ 50.9%）	1位（ 50.0%）
不満度		43位（ 7.9%）	43位（ 5.7%）
重要度		3位（ 82.0%）	6位（ 81.0%）

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	1,044,071	1,612,790	853,243	1,240,582
人件費	3,786,081	3,991,240	4,133,932	4,085,956
トータルコスト	4,830,152	5,604,030	4,987,175	5,326,538

施策の推進状況と課題	
等	ハード面における消防力の充実強化を図るため、老朽化した消防署所の再整備及び消防車両の更新等を計画的に進める必要がある。また、消防屯所の整備においては、地域防災の拠点であることから、地震、津波、高潮及び洪水等の対応も考慮した整備を行う必要がある。一方、ソフト面では、消防需要の多様化に対応するため、消防団員の加入促進を図るほか、消防団を始めとする地域コミュニティなど関係団体との連携を強化し、地域が持つ防災力を高め、総合的な消防力の強化に努める必要がある。

施策推進の方向性	
消防力の充実強化を図るため、引き続き、老朽化した消防署及び消防屯所の再整備並びに消防車両の更新等を計画的に進める必要がある。	
また、地域コミュニティの変容や高齢化、人口減少等による消防需要の多様化に対応するため、消防団員の加入促進に努めるとともに、消防団を始めとする関係団体との連携強化により地域防災力を高め、総合的な消防力の強化に努める必要がある。	

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		消防団の充実				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	(評価対象外)消防屯所管理事業					
	(評価対象外)消防団活動推進事業					
	(評価対象外)消防屯所整備事業					
取組方針						
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	市民局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実				課・室名	くらし安全安心課
	施策	安全・安心な暮らしの確保				電話番号	087-839-2555
			B	A			

1 施策の目的

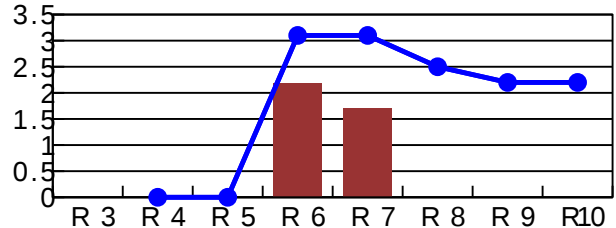
対象（誰、何を対象としているか）

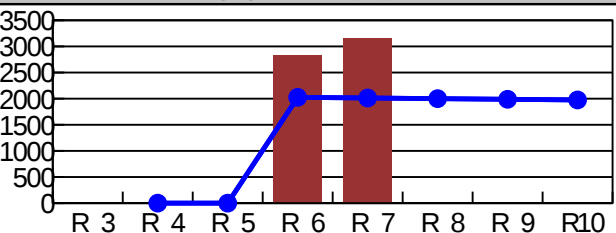
市民、全ての地域コミュニティ協議会及び連合自治会

意図（どのような状態にしたいのか）

交通事故や犯罪、消費者トラブルのない、健全な暮らしの確保に向けて、地域コミュニティ協議会等の関係団体等と連携した更なる市民に対する意識啓発の推進や相談対応の支援体制の強化を図る。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	人口10万人当たりの交通事故による死者数	人		2.19	1.7	2.5	145.2%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	交通事故による死者数は、令和6年の9人（うち高齢者5人）から、7年は7人（うち高齢者3人）と2人減少し、人口10万人当たりの交通事故死者数についても約0.5人減の1.7人となっている。						目指す方向 ↓

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	刑法犯認知件数	件		2,832	3,151	2,000	43.5%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				22点
	刑法犯認知件数は、前年比で319件増加しているため、防犯活動の推進等を今後も継続していく。						目指す方向 ↓

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		2位（45.0%）	4位（44.4%）
不満度		33位（16.0%）	27位（14.4%）
重要度		2位（85.1%）	1位（85.9%）

4 施策に係るコスト

（千円）

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	1,025,589	1,031,996	1,029,949	1,137,420
人件費	148,460	134,588	157,882	172,514
トータルコスト	1,174,049	1,166,584	1,187,831	1,309,934

施策の推進状況と課題	
【市民局】	交通安全啓発イベントの内容充実に向け、企業等との協議・検討が必要である。 犯罪被害に遭った直後の支援に加え、関係機関等と連携した中長期的な支援の充実が必要である。 インターネット等を利用した消費者トラブルの増加や、成年年齢引下げなど、消費者行政を取り巻く環境の多様化・深刻化への対応が必要である。
【環境局】	今後も引き続き、関係機関等との連携を図り、持続可能な水環境の形成の実現に向けた取組を進める必要がある。

施策推進の方向性

【市民局】企業等と協働で交通安全啓発イベントを開催するほか、関係機関等と連携した街頭キャンペーンを実施するなど、交通安全に對する意識向上を図り、交通事故防止を促進する。

【警察本部】犯罪や消費者トラブルをなくすため、防犯灯の設置・管理の適正化や、防犯カメラ設置費等補助事業の活用を促進するほか、消費者問題に関する関係機関等の連携強化を図る。

【環境局】関係機関等との連携を図り、環境基本計画の進捗管理に合わせて、持続可能な水環境の形成の実現に向けた取組を進める。

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		消費生活の安定と向上				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	消費者団体支援事業	90%	A	継続	高松市消費者団体連絡協議会主催事業の参加者数	261.0%
	(評価対象外)消費生活相談事業					
	消費者啓発事業	90%	A	継続	消費者月間事業の満足度	111.9%
					消費者啓発講座の参加者数	316.9%
	(評価対象外)計量検査事業					
取組方針		交通安全対策の推進				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	交通安全教育等推進事業	91%	A	継続	市内幼保、小学校、支援学校等の交通安全教室参加人数	97.9%
					高齢者交通安全教室等参加者数	114.6%
	違法駐車防止対策事業	90%	A	継続	重点地域街頭活動実施前後の違法駐車の前減少率	98.9%
	(評価対象外)放置自動車等対策事業					
	高齢者等交通安全啓発推進事業	80%	A	継続	65歳以上の運転免許証自主返納者数	81.8%
	(評価対象外)交通安全施設整備事業					
	(評価対象外)番町地下道管理事業					

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

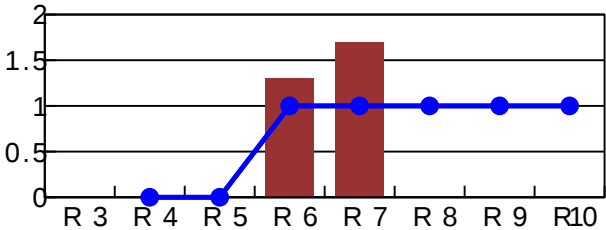
総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実				課・室名	生活衛生課
	施策	生活衛生の向上				電話番号	087-839-2865
			B	A			

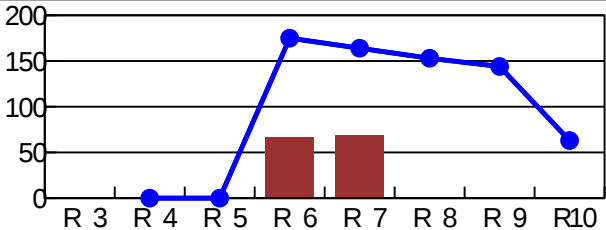
1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
食品や環境衛生に起因する健康被害発生抑制や、安心して利用できる環境、墓地の適正管理等による良好な生活衛生環境が構築されるとともに、動物愛護に関する理解が進み、「人と動物の調和のとれた共生社会」が実現している。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	人口10万人当たりの食中毒患者数の全国平均との比較			1.3	1.7	1	30.0%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				15点
	食中毒の発生件数が、昨年度の倍以上であり、また規模の大きい食中毒が発生したことにより、患者数が増加し、目標を達成することができなかった。						目指す方向 ↓

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	犬・猫の殺処分数	頭		67	69	153	157.9%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	さぬき動物愛護センターを中心に、犬猫を積極的に譲渡するとともに、犬猫のみだりな繁殖防止や迷子対策を実施したことにより、殺処分数は減少し、目標を達成できた。						目指す方向 ↓

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		10位（ 34.5% ）	12位（ 37.3% ）
不満度		40位（ 14.0% ）	38位（ 11.7% ）
重要度		24位（ 65.1% ）	23位（ 66.1% ）

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	505,879	795,338	1,017,555	662,208
人件費	343,232	382,912	413,258	435,111
トータルコスト	849,111	1,178,250	1,430,813	1,097,319

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
【市民局】墓地環境の適正な維持管理及び需要に応じた墓所の供給が求められている。また、施設の適切な維持管理により、斎場業務を円滑に実施する。 【健康福祉局】食に関する市民の関心が高まったことなどから、食品の安全確保対策を、より一層強化するほか、各種衛生対策や動物愛護の普及啓発等を積極的に実施する。

施策推進の方向性
【市民局】墓地に関する市民ニーズの変化を踏まえ、平和公園において、新たな合葬式墓地の整備を行う。 また、市斎場施設の修繕を計画的に実施する等、適切な維持管理に努め、斎場業務を円滑に実施する。 【健康福祉局】食品衛生法に基づく各種営業施設等に対する監視・指導などの食品衛生対策を推進するほか、動物愛護の推進を図ることにより、引き続き、生活衛生の向上に取り組んでいく。

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		動物愛護管理の推進				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外) 動物愛護管理事業					
	(評価対象外) 動物愛護センター管理運営事業					
	(評価対象外) 動物愛護管理基金積立事業					
○	犬猫一時保管施設整備事業	94%	A	完了	犬猫一時保管施設整備進捗率	100.0%

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		生活衛生対策の推進				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外) 毒物劇物監視指導事業					
	(評価対象外) 墓園・墓地管理事業					
	(評価対象外) 食品衛生監視指導事業					
	害虫駆除事業	94%	A	継続	衛生害虫媒介感染症罹患者数(海外渡航後発症者除く)	100.0%
	(評価対象外) 衛生試験検査事業					
	公衆浴場施設改善事業等助成事業	82%	A	継続	一般公衆浴場数(銭湯)	83.3%
	(評価対象外) 斎場等管理運営事業					
	(評価対象外) 環境衛生諸営業等監視指導事業					
	(評価対象外) 食肉衛生検査事業					
○	合葬式墓地整備事業	92%	A	継続	合葬式墓地整備進捗率	100.0%

令和8年度 高松市政策評価表（令和7年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	総合評価
	政 策	暮らしを支える生活環境の向上	A

1 政策の概要

市営住宅の適切な維持管理やサービスの向上、既存住宅の流通促進、空き家の利活用を通じて、快適で安全な住環境を確保します。
都市機能誘導区域と居住誘導区域に医療・商業等の生活利便施設や居住の緩やかな誘導を図り、集約型の都市構造への転換を図ります。
道路や橋りょう等の日常生活に不可欠な都市基盤は、計画的な維持管理により、市民が移動する際の安全性・利便性を維持・向上します。
一定規模を超える建築行為等や広告物についての規制制度の適用、利用者ニーズに対応した公園・緑地の質的充実を図り、都市の景観を維持します。
下水道事業計画区域内における未整備地区の整備や合併処理浄化槽への転換の促進、下水道施設の適正な維持管理・計画的な更新等により、公共用水域の水質の保全を図り、快適で安心な暮らしを実現します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
居住環境の充実	100%	A
道路・橋りょうの整備	100%	A
景観形成の推進	100%	A
污水対策の推進	94%	A
平均	99%	A

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
居住環境の充実	32.2%	22.4%	74.3%
道路・橋りょうの整備	37.5%	20.2%	77.2%
景観形成の推進	46.8%	11.6%	62.8%
污水対策の推進	43.7%	13%	77.8%
平均	40.1%	16.8%	73.0%

令和 8年度 高松市施策評価表（7年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	都市整備局
	政策	暮らしを支える生活環境の向上				課・室名	住宅政策課
	施策	居住環境の充実				電話番号	087-839-2136
			A	A			

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民（市営住宅の入居者及び入居申込者、住居表示実施区域内の住民、地籍調査計画区域内の関係権利者、開発行為をしようとする者、建築物を建築しようとする者、空き家所有者等）	市営住宅の適切な維持管理、住居表示設定、地籍調査の実施、開発行為や建築に係る許認可事務の適正な実施、空き家等対策の実施をすることにより、居住環境の整備水準の向上を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	配慮を要する人のための住宅登録戸数	戸		7,821	7,963	7,981	106.5%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	セーフティネット住宅の登録戸数は順調に増加しており、令和7年度までの累計で目標を超える7,963戸が登録された。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	マッチングにつながった空き家等の数（累計）	件		171	199	178	140.1%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	固定資産税の納税通知書に利用申込書を兼ねたチラシを同封するなど、積極的な周知に努め、令和7年度までの累計で199件のマッチングにつなげることができた。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		18位（27.6%）	20位（32.2%）
不満度		13位（22.5%）	5位（22.4%）
重要度		19位（69.7%）	17位（74.3%）

4 施策に係るコスト

（千円）

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	999,840	749,151	820,232	1,396,060
人件費	468,029	498,944	536,771	546,126
トータルコスト	1,467,869	1,248,095	1,357,003	1,942,186

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

[illegible]

施策推進の方向性

豊かな暮らしを支える生活・居住環境の向上のため、引き続き、各事業を着実に推進する。

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		住まい・住環境づくりの推進				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	(評価対象外)市営住宅管理 事業					
○	豊かな住まいづくり事業	86%	A	拡充	高松市安心あんぜん住宅事業補助金件数	76.9%
					居住誘導区域内の人口密度(1ha当たりの人口)	94.6%
取組方針		住宅の安全性の向上				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	(評価対象外)地籍調査事業					
	(評価対象外)開発指導事業					
	(評価対象外)建築指導事業					
	(評価対象外)住居表示管理 事業					

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	都市整備局
	政策	暮らしを支える生活環境の向上				課・室名	道路整備課
	施策	道路・橋りょうの整備				電話番号	087-839-2516
			A	A			

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）

市道利用者

意図（どのような状態にしたいのか）

道路の点検、修繕及び適切な道路改良などを行うことにより、良好な道路環境を確保するとともに、その整備・充実を図る。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	計画期間（H 2 9 ~ R 3）内の橋りょう修繕等着手率	%		100	100	100	127.7%
成果指標	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	当該指標は、計画期間（H 2 9 ~ R 3）内に点検した橋りょうで、修繕等の措置が必要な橋りょうへの措置着手率100%を目指したものである。令和6年度時点で全橋りょうで修繕等措置に着手し、良好な道路環境を確保した。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	幅員4m以上に拡幅整備した市道の総延長距離	k m		2,395	2,400.1	2,400	100.1%
成果指標	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	当該指標は、快適な道路環境を確保し、地域住民の利便性や安全性の向上を図ることを目指したものである。令和7年度における道路改良等が完了した総延長は2,400.087kmであり、安全で快適な道路環境の構築を図ることができた。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		7位（ 37.1%）	10位（ 37.5%）
不満度		20位（ 20.1%）	9位（ 20.2%）
重要度		14位（ 74.2%）	11位（ 77.2%）

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	2,126,508	2,370,701	2,534,893	2,466,727
人件費	268,564	287,030	286,177	297,371
トータルコスト	2,395,072	2,657,731	2,821,070	2,764,098

[illegible]

施策推進の方向性	
	各種計画や審議会等を活用し、長期的な視点で道路や橋りょうの点検及び修繕並びに適切な改良を実施することにより、安全で安心できる道路環境の整備、充実を図る。

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

令和 8年度 高松市施策評価表（7年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	都市整備局
	政策	暮らしを支える生活環境の向上				課・室名	都市計画課
	施策	景観形成の推進				電話番号	087-839-2455
			A	B			

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市民、高松市全域

意図（どのような状態にしたいのか）
高松市全域において、地域に即した美しいまちづくりを推進し、誰もが暮らしたい訪れたいと感じる美しいまちを創出する。 公園の整備や緑地の保全等により、生活環境の向上を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	景観に影響を及ぼす建築物や開発行為等の数	件		0	0	0	100.0%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	目標のとおり、0件を達成できた。 窓口・電話等で問い合わせがあったものについて、届出の対象となる建築物等の規模等を丁寧に説明したのが奏功したものと思われる。						目指す方向 ↓

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	公園・緑地の質の向上を図った件数（累計）	件		1	1	1	100.0%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	昨年度に引き続き、1件の公園について供用開始している。 川東公園（仮称）においては基盤整備事業を実施し、中央公園再整備事業においては工事に着手した。						目指す方向 ↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		3位（44.4%）	3位（46.8%）
不満度		35位（15.5%）	39位（11.6%）
重要度		30位（61.3%）	28位（62.8%）

4 施策に係るコスト

（千円）

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	565,148	565,433	973,934	1,354,927
人件費	141,356	150,926	132,335	132,335
トータルコスト	706,504	716,359	1,106,269	1,487,262

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

現在、高松市景観計画改定に伴い景観形成重点地区の追加を検討しており、地区数増に向けて検討を進めている。

に向けた必
 省にいくた
 くりするた
 づ整備す
 ちら確保
 まなが確
 なりなを
 かりな予
 豊図の
 緑をの
 など、携
 備と連
 の整備
 の令和
 の協議
 の進め
 の二テ
 称度
 仮二
 園ミ
 公コ
 東元
 川地
 づき
 づき、
 基に引
 画に業
 計する
 本再行
 基のめ
 緑の進
 市に中
 松的活
 高画動
 2次計
 第組の
 取要へ

施策推進の方向性

美しいまちづくりアドバイザーの夜間景観ガイドラ

環境保全機能、レクリエーション機能、防災機能、景観形成機能等の多様な機能を持つ都市公園の整備や公園・街路樹の維持管理等の緑の保全に関する施策は、潤いと安らぎのある生活環境の創出に不可欠であることから、今後とも継続していく。

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		公園・緑地の充実				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	花いっぱい推進事業	76%	B	継続	ボランティア管理花壇箇所数	75.4%
	(評価対象外)公園・街路緑化事業					
	身近な公園整備事業	90%	A	継続	全体進捗率	90.9%
	(評価対象外)名木保護事業					
○	民間活力の導入による中央公園再整備事業	94%	A	継続	P a r k - P F I 導入公園数	100.0%
	(評価対象外)ちびっこ広場整備事業					
	(評価対象外)公園施設管理運営事業					
○	街路樹等再整備事業	22%	C	改善	街路樹管理に関する通報件数の減少率	0.0%

令和 8年度 高松市施策評価表（7年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	都市整備局
	政策	暮らしを支える生活環境の向上				課・室名	下水道経営課
	施策	污水対策の推進				電話番号	087-839-2765
			A	A			

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
生活環境の改善や公衆衛生の向上に加え、河川、海域等の公共用水域の水質保全を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	生活排水処理施設が利用できる市民の割合	%		89.9	90.3	90.6	100.0%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	下水道污水管きよの整備による5.1haの供用を開始し、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進等により、前年度から0.4ポイント上昇し、目標を達成することができた。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	改築・更新した下水道管きよの総延長距離	k m		13.6	15.4	21.4	87.5%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				44点
	ストックマネジメント計画に基づき、1.8kmの下水道管きよの改築・更新を実施したが、目標を下回った。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		4位 (42.2%)	5位 (43.7%)
不満度		42位 (12.7%)	34位 (13.0%)
重要度		9位 (76.4%)	10位 (77.8%)

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	7,759,548	22,850,047	24,987,050	26,642,173
人件費	615,031	634,808	659,801	656,454
トータルコスト	8,374,579	23,484,855	25,646,851	27,298,627

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
下水道事業計画区域内の汚水対策については、生活排水対策を更に推進するため、私道への下水道管布設承諾に係る地元関係者の合意形成を図るとともに、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進や下水道未接続世帯の解消に努めるなど、普及促進のための具体的な取組を継続的に行う必要がある。

施策推進の方向性
多核連携型コンパクト・エコシティの取組との整合を図りながら、高松市下水道事業基本計画や第5次高松市生活排水対策推進計画に基づき、公共下水道の整備や合併処理浄化槽の転換促進により、計画的かつ効果的な汚水対策に取り組む。

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		下水道施設の維持・更新				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	【企業会計】（評価対象外） 農業集落排水施設管理等事業					
○	【企業会計】下水道管きょ維持 管理等事業	93%	A	継続	点検・調査エリアにおける汚水溢水事故 発生件数	100.0%
	【企業会計】（評価対象外） 下水道事業管理事務（経営課 分）					
	【企業会計】（評価対象外） 下水道施設維持管理事業					
	【企業会計】（評価対象外） 下水道事業管理事務（業務課 分）					
	【企業会計】（評価対象外） 再生水処理施設管理事業					

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

5 都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち

令和 8 年度 高松市政策評価表（令和 7 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	総合評価
	政 策	機能性の高い都市空間の形成	

1 政策の概要

人口動態やライフスタイルの多様化に伴う居住地・ニーズの変化、土地利用の動向、それぞれの集約拠点の機能・役割分担などを踏まえて、機動的で柔軟な土地利用の規制、誘導策の検討・実施、都市機能の集積を推進し、コンパクトなまちづくりを実現します。 サンポートエリアを核とするシーフロントや中心市街地の魅力・回遊性の更なる向上、民間活力の導入による中央公園の新たな魅力づくり、中央商店街の活性化により、まちのにぎわいを創出します。
--

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
コンパクトシティの推進	97%	A
中心市街地の活性化	92%	A
平均	95%	A

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
コンパクトシティの推進	33%	18.2%	59.5%
中心市街地の活性化	37.5%	20.4%	56.2%
平均	35.3%	19.3%	57.9%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	総合評価 A	下位事務事業平均 A	評価担当	局名	都市整備局
	政策	機能性の高い都市空間の形成				課・室名	都市計画課
	施策	コンパクトシティの推進				電話番号	087-839-2455

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
令和7年6月に改定した多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画に基づき、集約拠点への都市機能の集積と市街地の拡大抑制による、コンパクトで持続可能な都市構造「多核連携型コンパクト・エコシティ」の実現を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
成果指標	居住誘導区域内の人口密度	人 / h a		44.1	43.9	45.1	97.3%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				49点
	自然減の影響による人口密度の低下により、目標達成には至らなかったが、居住誘導区域内の社会増については143人（令和7年度実績）と増加傾向にあり、一定の人口流入は維持されていることから、立地適正化計画に基づく居住誘導施策については、一定の効果が見られるものと考えられる。						目指す方向 ↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
成果指標	機能集積を目的としたまちづくり制度の活用件数	件		21	21	23	95.5%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				48点
	実績は前年度と同数となり、目標達成には至らなかった。再開発事業や地区計画制度等は、関係権利者との合意形成や事業採算性の確保、都市計画手続等に一定の期間を要することから、新規活用案件の創出には至らなかったものの、制度活用に向けた協議・調整は継続して実施している。						目指す方向 ↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		23位（ 24.4% ）	18位（ 33.0% ）
不満度		2位（ 29.1% ）	13位（ 18.2% ）
重要度		36位（ 55.9% ）	32位（ 59.9% ）

4 施策に係るコスト

（千円）

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	149,995	35,171	38,689	113,781
人件費	63,604	66,238	69,645	86,437
トータルコスト	213,599	101,409	108,334	200,218

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
平成30年3月に策定した立地適正化計画に基づき、今後、デジタル技術も活用しながら、実効性のある誘導施策・事業を実施し、引き続き、市街地拡大の抑制と都市機能の集約を図るとともに、コンパクトで持続可能なまちづくりを推進する。また、公共交通を基軸とした集約型都市の構築に向けた施策・事業を効果的に推進するためには、各種計画が個別に策定されていることによる複雑化を解消し、コンパクト・プラス・ネットワークの構築に向けた取組を一体的に進める必要がある。

施策推進の方向性
立地適正化計画やコンパクト・エコシティ推進計画に基づき、人口減少、少子・超高齢社会を見据え、30年後、50年後においても活力を失わず、市民が生き生きと暮らせるコンパクトで持続可能なまちづくりを実現するために継続して事業を推進していくとともに、各種計画（都市計画マスタープラン、総合都市交通計画等）を統合した、令和10年を始期年次とする次期都市計画マスタープランを策定する。

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		都市機能の充実と集積促進				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外) 新病院を核としたまちづくり推進事業（北側エリア整備事業）					

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		シーフロントの形成				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	(評価対象外) サポート高松管理事業					
取組方針		計画的な土地利用の推進				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	(評価対象外) 都市計画制度運用事業					
○	地理空間データ基盤整備事業	96%	A	拡充	地理空間データ基盤に登載した地図情報等の数(累計)	111.7%
					地理空間データ基盤上で提供されるサービス数(累計)	112.5%
○	都市構造再構築事業	92%	A	継続	都市機能誘導区域内の誘導施設の立地率	92.6%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	総合評価 A	下位事務事業平均 A	評価担当	局名	都市整備局
	政策	機能性の高い都市空間の形成				課・室名	都市計画課
	施策	中心市街地の活性化				電話番号	087-839-2455

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 中心市街地	意図（どのような状態にしたいのか） 中心市街地の機能強化を図るとともに、魅力ある商業・業務空間の形成やまちなか居住を促進する再開発等の事業を推進することにより、中心市街地の活性化を目指す。
---------------------------	---

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	中央商店街における歩行者通行量（全日）	人 / 日		126,613	113,403	127,548	89.2%
成果指標	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				45点
	瀬戸内国際芸術祭の開催や県立アリーナのオープン等により商店街への集客効果を生み出しているが、中央商店街の歩行者数は目標値127,081人に対し実績値が113,403人となり、目標を達成することができなかった。						目指す方向 ↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	中央商店街における空き店舗率	%		15.6	15.9	14.9	93.3%
成果指標	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				47点
	中央商店街の区域に所在する空き店舗に新たに出店する事業者に対し、改装費の一部を補助する等の支援は行ってきたが、空き店舗率14.9%の目標値に対し、実績値が15.9%となり目標を達成することができなかった。						目指す方向 ↓

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		23位（24.4%）	10位（37.5%）
不満度		7位（26.5%）	8位（20.4%）
重要度		39位（52.2%）	37位（56.2%）

4 施策に係るコスト

（千円）

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	180,373	493,503	329,116	309,968
人件費	62,098	118,039	119,220	124,418
トータルコスト	242,471	611,542	448,336	434,386

施策の推進状況と課題	
民間主導による丸亀町商店街ＤＥ街区再開発事業において、より魅力ある空間を創出することで、中央商店街全体のにぎわいの回復を目指しているが、事業化に向けた関係者間の合意形成や事業スキームの構築が課題となっている。	
また、令和７年４月からは、第４期高松市中心市街地活性化基本計画に基づき、引き続き中心市街地の活性化を推進していくこととしており、中心市街地のにぎわい創出に向け、官民が連携し、一体となって取り組む必要がある。	

施策推進の方向性

中心市街地は、地域住民等の生活や交流の場であるとともに、都市全体のまちづくりにも深く関わることから、その活性化は重要な継続課題である。このため、社会経済情勢の変化を的確に見極めながら、各事業の進行管理や精査・検討を行い、効果的かつ効率的に事業を推進するとともに、拠点性を発揮できる都市機能の充実を図る必要がある。今後においても、高松市立地適正化計画等を踏まえた中心市街地活性化基本計画に基づき、民間事業者等との情報共有や連携を図りながら、各種施策・事業を展開する。

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		誘客力と回遊性の向上				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
○	ウォークアブルシティ推進事業	95%	A	継続	中心市街地内の宿泊者数	100.9%
					中心市街地の社会動態	96.0%
	(評価対象外) 瓦町駅ビル利活用事業					
取組方針						
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度

令和 8 年度 高松市政策評価表（令和 7 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	総合評価 A
	政 策	交流・連携を支える都市交通の充実	

1 政策の概要

鉄道とバスによる公共交通ネットワークの再構築や瀬戸内エリアにおける中枢拠点性を高める道路ネットワークの充実により、市民生活の利便性の向上や経済活動の活性化を実現します。 また、行政や交通事業者だけでなく地域住民とも連携を図りながら、公共交通空白地域等におけるコミュニティバスやタクシーを活用した新しい移動手段の導入など、地域の実情を踏まえた効率的で持続性の高い公共交通網の構築を推進します。 レンタサイクルを利用する際の利便性の向上や自転車通行空間等の整備を推進し、自転車の利用を促進します。 高松空港や高松港の機能拡張や拠点機能の充実、四国の新幹線を始めとする広域鉄道ネットワークの整備促進を通じて、四国・瀬戸内エリアの玄関口としての拠点性を発揮します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
地域交通ネットワークの充実	98%	A
広域交通ネットワークの充実	92%	A
平均	94%	A

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
地域交通ネットワークの充実	20.6%	38.2%	75.6%
広域交通ネットワークの充実	27.5%	26.5%	67%
平均	24.1%	32.4%	71.3%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実				課・室名	交通政策課
	施策	地域交通ネットワークの充実				電話番号	087-839-2138

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）

市民、来訪者

意図（どのような状態にしたいのか）

市民の活動を支える多様な移動手段を確保するとともに、公共交通の利便性の向上により、公共交通の利用促進を図る。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	市内公共交通機関（電車、バス）の利用率	%		14.8	15.5	14.9	107.6%
成果指標	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	当該指標は、令和10年度に新型コロナウイルス感染症影響前の令和元年度における利用率まで回復することを目指し、毎年度一定の利用率向上を目標に掲げている。令和7年度は、1日当たり3,162人の公共交通利用者が増加し、利用率は回復傾向にあるとともに、目標を達成した。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	レンタサイクルの利用者数	人		168,198	165,462	189,800	91.5%
成果指標	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				46点
	当該指標は、令和4年にスマートフォンアプリを活用したレンタサイクルシステムを導入し、レンタサイクルの利用者数の令和8年度目標値を189,800人として、毎年度一定の利用率向上を目標に掲げている。令和7年度の利用者数は、165,462人であり、目標を達成することができなかった。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		3位（18.8%）	4位（20.0%）
不満度		1位（45.0%）	1位（38.2%）
重要度		12位（75.2%）	14位（75.0%）

4 施策に係るコスト

（千円）

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	1,476,377	1,911,272	3,169,537	2,503,348
人件費	197,498	190,915	211,654	196,701
トータルコスト	1,673,875	2,102,187	3,381,191	2,700,049

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

[illegible]

施策推進の方向性

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		自転車の利用環境の向上				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	自転車利用環境整備事業	80%	A	継続	自転車道等整備済延長	74.8%
	放置自転車等対策事業	90%	A	継続	放置自転車警告件数減少率	111.9%
	駐輪場整備事業	83%	A	継続	鉄道駅周辺公共駐輪場の収容台数	99.6%
					補助駐輪場の収容台数	97.1%
	レンタサイクル事業	83%	A	改善	放置自転車撤去台数（禁止・整理区域）減少率	100.4%
	（評価対象外）駐輪場管理事業					
取組方針		公共交通ネットワークの再構築				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
○	地域公共交通再編事業	85%	A	継続	交通結節拠点におけるバス結節数（都心部を除く）	88.2%
					ことでん新駅（太田～仏生山駅間）整備進捗率	73.3%
	公共交通維持改善事業（交通政策課分）	88%	A	改善	パークアンドライド駐車場利用率	110.5%
					コミュニティバス等の収支率（平均値）	108.5%
○	J R 端岡駅周辺整備事業	54%	C	改善	事業着手までの進捗率	45.0%
	（評価対象外）駐車場管理運営事業					
	（評価対象外）地域公共交通運行特別支援事業					
	公共交通維持改善事業（都市計画課分）	100%	A	継続	バリアフリー施設数（累計）	100.0%
	公共交通利用促進事業	94%	A	継続	有効ゴールド I r u C a 保有率	105.9%
					電車・バス乗継件数	83.4%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

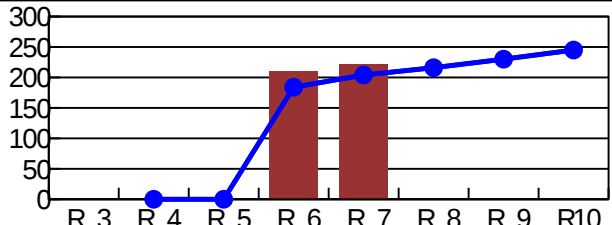
総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	総合評価 A	下位事務事業平均 A	評価担当 局名 課・室 電話番号	都市整備局
	政 策	交流・連携を支える都市交通の充実				交通政策課
	施 策	広域交通ネットワークの充実				087-839-2138

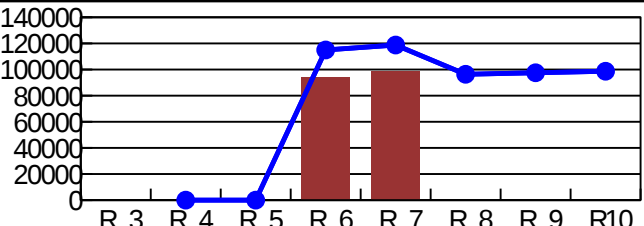
1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
地域経済・産業（人・物・情報）

意図（どのような状態にしたいのか）
四国・瀬戸内エリアの中核都市としての機能を発揮できる陸海空の交通ネットワークの整備と利用促進により、交流人口の拡大、物流の円滑化を促進し、地域経済及び産業の活性化を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目 標 達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	高松空港の利用者数	万人		211	222	216	108.8%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	好調なインバウンド需要を背景にした国際線の利用増などにより、目標を達成することができた。						目指す方向 ↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目 標 達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	高松港コンテナターミナル取扱量	T E U		94,035	98,898	96,363	83.3%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				42点
	目標は達成できなかったが、中国航路の増加や一昨年の落ち込みの反動により取扱量は増加傾向にあり、達成率の増加が確認できた。						目指す方向 ↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		21位 (25.3%)	29位 (27.5%)
不満度		3位 (28.8%)	2位 (26.5%)
重要度		28位 (62.2%)	22位 (67.0%)

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	651,437	817,663	711,267	234,057
人件費	18,366	21,462	26,227	15,992
トータルコスト	669,803	839,125	737,494	250,049

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

高松港の活性化に向け、高松空振興期成会の一員として過去最高を更新したが、更なる交流人口の拡大による地域活性化に必要がある。令和7年3月に改定した高松港湾計画に基づき、四国が早期実現に向けては、自治体が主体性を発揮しながら、地域住民の機運醸成を図る必要がある。

施策推進の方向性

な促進致誘の便ター一、チャーター、ター、便の誘致促進な
発的持続業の地、域産の持、続的、發、示を像の將、来、の、像、を、示す。
は、と、一、と、り、込、み、な、航、路、ダ、ア、エ、キ、て、員、ダ、ア、エ、キ、て、員、ダ、
に、一、一、の、イ、ー、ジ、地、を、補、う、こ、う、し、て、は、と、一、と、り、込、み、な、航、路、
線、成、際、東、の、係、に、會、フ、南、候、者、つ、い、の、イ、ー、ジ、地、を、補、う、こ、う、し、て、
路、期、國、の、駅、關、空、興、や、た、線、な、航、振、路、ま、幹、々、の、港、航、新、様、
港、空、一、す、空、松、リ、指、は、で、高、松、エ、目、後、と、高、フ、を、今、こ、ど、展、す

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		空港・港の拠点機能の充実				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	(評価対象外)県施行港湾建設事業					
	航空路線網拡大促進事業	88%	A	継続	定期路線数	87.5%
取組方針						
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度

令和 8 年度 高松市政策評価表（令和 7 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	総合評価 A
	政 策	環境と共生する脱炭素社会の実現	

1 政策の概要

再生可能エネルギーの利用促進や環境配慮行動に関する意識啓発、さらには、環境面だけでなく、産業競争力の向上や社会経済システムの改革にも資するグリーントランスフォーメーション（GX）の推進により、ゼロカーボンシティを実現します。

脱炭素型ライフスタイルへの転換につながる行動を推進する「脱炭素型行動推進員」との連携による全市一体となったごみの減量や資源化の推進、環境に配慮した適切な廃棄物処理や不法投棄の防止に取り組みます。

また、市民、事業者、行政が、自然との触れあいを通じた環境学習や環境活動に参画し、一体となって循環型社会を構築します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
ゼロカーボンシティの実現	93%	A
循環型社会の形成	100%	A
平均	97%	A

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
ゼロカーボンシティの実現	19.5%	20.2%	52.5%
循環型社会の形成	35%	14.1%	65.2%
平均	27.3%	17.2%	58.9%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する脱炭素社会の実現	A	A		課・室名	ゼロカーボンシティ推進課
	施策	ゼロカーボンシティの実現				電話番号	087-839-2393

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民、事業者	市民、事業者との協働を進めながら、温室効果ガスの排出抑制となる施策を推進し、地球温暖化対策を進める。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	本市域の温室効果ガス排出量	千t-CO ₂		2,227	2,240	2,559	95.3%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				48点
	家庭、事業者への「蓄エネ」、「省エネ」の促進に取り組み、温室効果ガス排出量の削減につながっているが、令和元年度を基準とする目標は達成できなかった。						目指す方向
							↓

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	市内における太陽光発電システムの発電総容量	k w		257,461	262,321	309,307	89.2%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				45点
	太陽光発電に関する啓発活動や、家庭用太陽光発電設備に対する補助などを実施したことにより、太陽光発電システムの設置数は増えているが、目標は達成できなかった。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		43位 (14.0%)	42位 (19.5%)
不満度		6位 (26.9%)	9位 (20.2%)
重要度		40位 (50.9%)	40位 (52.5%)

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	214,570	63,983	1,956,907	105,291
人件費	44,254	64,245	60,888	75,193
トータルコスト	258,824	128,228	2,017,795	180,484

施策の推進状況と課題	
本市は、「ゼロカーボンシティ」宣言に基づき、2050年までの二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す。各種施策に取り組むこととしており、その実現のためには、再生可能エネルギーの更なる拡充や市民・事業者と連携したライフスタイル転換の推進が課題となっている。	

施策推進の方向性	
	「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、地球温暖化対策実行計画に基づき、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを達成するため、市民・事業者のライフスタイル転換に向けた周知啓発や市民・事業者と連携して再生可能エネルギーの導入拡大を図るなど、具体的な取組を推進する。

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する脱炭素社会の実現				課・室名	環境総務課
	施策	循環型社会の形成				電話番号	087-839-2388
			A	A			

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）

ごみを排出する市内の家庭や事業所

意図（どのような状態にしたいのか）

ごみの減量と資源化の推進、環境に配慮した適正な廃棄物処理や不法投棄の防止により、環境と共生する持続可能な循環型社会の形成を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	1人1日当たりのごみ排出量	g		848	840	861	102.3%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	ごみ分別アプリ等により正しい分別やリサイクルの推進等の周知啓発を行い、市民・事業者の「ごみの減量と再資源化」に対する意識向上を図った結果、目標を達成することができた。						目指す方向
							↓

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	リユースに努めている市民の割合	%		24	57.3	27	318.3%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	市民の環境意識や物価高騰などによるリユース意識が高まる中、環境学習や清掃活動などの各種啓発事業の実施により、一層の意識醸成を図った結果、目標を大幅に達成することができた。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		14位 (29.9%)	15位 (35.0%)
不満度		30位 (17.0%)	28位 (14.1%)
重要度		21位 (67.9%)	25位 (65.2%)

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	5,058,820	5,379,497	6,129,115	6,775,780
人件費	1,369,952	1,337,413	1,345,246	1,323,817
トータルコスト	6,428,772	6,716,910	7,474,361	8,099,597

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
市民・事業者・行政が一体となり、ごみの発生を抑制する2Rを優先的に推進しながら、資源化が可能なごみのリサイクルを徹底していくことが求められている。また、ごみの適正処理を確保した上で、より経済的で効率的な収集運搬体制を検討するとともに、既存のごみ処理施設の適切な維持管理と次期ごみ処理施設の整備に取り組む必要がある。し尿等の処理については、引き続き、下水道との共同処理を安定的かつ適正に行う必要がある。さらに、環境学習や清掃活動など、市民・事業者・行政が連携して環境保全活動に取り組む必要がある。

施策推進の方向性
一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの減量・資源化を推進し、既存のごみ処理施設の適切な維持管理を図るとともに、今後も安定したごみ処理を行うため、次期ごみ処理施設の整備に取り組む。し尿等の処理については、下水道との共同処理を安定的かつ適正に推進していく。循環型社会の形成に向けて、市民・事業者等と連携し、ごみの発生を抑制する2Rを優先的に推進しながら、資源化の推進、環境に配慮した適正な廃棄物処理や不法投棄の防止に取り組む。また、環境学習や清掃活動などを継続して実施することにより、環境と共生する循環型社会の構築を目指す。

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		ごみの減量・資源化の推進				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	小型家電等リサイクル推進事業	98%	A	継続	年間回収量	153.3%
○	プラスチックごみ対策事業	94%	A	拡充	プラスチック容器包装ごみの再資源化率（家庭ごみ）	98.9%
	ごみ減量・資源化啓発事業	92%	A	継続	資源ごみの再資源化率（紙・布を除く）	99.5%
					1日1人当たりの家庭系ごみ排出量の減少率	177.3%
	食品ロス対策等推進事業	88%	A	拡充	アンケートで食品ロスを出していないと回答した割合	87.5%
	家庭系ごみ有料化事業	94%	A	継続	燃やせるごみ減少率	179.5%
					破碎ごみ減少率	252.3%
	事業系ごみ減量推進事業	72%	B	継続	多量排出事業者の廃棄物リサイクル率	67.9%

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		環境意識の醸成				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	「ため池守り隊」市民活動支援事業	92%	A	継続	活動参加人数	96.8%
	(評価対象外) 公害対策事業					
	南部クリーンセンター環境学習事業	78%	B	継続	エコホテル自主企画講座参加者数	75.5%
	環境保全推進事業	98%	A	継続	環境学習講座参加者数	159.6%
	(評価対象外) 騒音・振動・悪臭規制事業					
	環境美化推進事業	94%	A	継続	高松クリーンデー参加者数	97.0%
	高松市環境衛生組合連合会活動推進事業	92%	A	継続	河川等清掃活動を実施する地区衛生組合協議会数	100.0%
	(評価対象外) 大気汚染防止対策事業					
	(評価対象外) 水質汚濁防止対策事業					
	(評価対象外) 公衆便所管理等事業					
	たかまつマイロード事業	96%	A	継続	清掃延長	100.6%
	(評価対象外) コミュニティ広場管理事業					

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		廃棄物処理の推進 (1/2)				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
○	次期ごみ処理施設整備事業	98%	A	継続	次期ごみ処理施設整備事業の進捗率	100.0%
	(評価対象外)産業廃棄物適正処理指導事業					
	(評価対象外)衛生処理センター跡地管理事業					
	(評価対象外)西部クリーンセンター施設改良事業					
	(評価対象外)衛生センター管理事業					
	(評価対象外)環境基本計画推進事業					
	(評価対象外)し尿中継貯留槽管理事業					
	(評価対象外)西部クリーンセンター管理運営事業(破砕処理)					
	災害時し尿処理事業	96%	A	継続	簡易トイレ備蓄率	100.0%
					携帯トイレ備蓄率	100.0%
	(評価対象外)南部クリーンセンター場内整備事業					
	(評価対象外)西部クリーンセンター管理運営事業(焼却処理)					
	(評価対象外)離島し尿収集事業					
	(評価対象外)南部クリーンセンター管理運営事業					
	(評価対象外)ごみ処理計画推進事業					

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		廃棄物処理の推進 (2/2)				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外)ごみ適正処理指導事業					
	(評価対象外)ごみ収集運搬事業					
	(評価対象外)ごみ処理関連施設統廃合整備事業					
	(評価対象外)ごみ最終処分場管理事業					
	(評価対象外)一般廃棄物最終処分場整備事業					

6 さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち

令和8年度 高松市政策評価表（令和7年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	総合評価 A
	政 策	地域社会を支える連携・協働の推進	

1 政策の概要

地域コミュニティ活動を担う人材の確保・育成や活動への財政的支援を行い、地域コミュニティによる自主的・自立的なまちづくりを促進します。

また、地縁団体や市民活動団体を始めとする各種団体の連携を促進し、市民や団体による主体的な活動の継続を実現します。

様々な媒体を活用した市政情報の効果的な発信により、市民の市政への関心を高め、市民の積極的な市政への参画を促進します。

離島では、事業者や大学等、島内外の様々な主体との連携による地域資源をいかした特色のある島づくりにより、ワーケーションや二地域居住の魅力を発信し、更なる交流の促進を図ります。

大学・企業等や香川県、連携中枢都市圏の市町を始めとする近隣自治体等との連携を更に強化し、より良いまちづくりに向けた取組を推進します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
地域コミュニティの自立・活性化	85%	A
参画・協働の推進	99%	A
離島の振興	89%	A
連携の推進	100%	A
平均	93%	A

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
地域コミュニティの自立・活性化	35.2%	15.9%	56.2%
参画・協働の推進	23.3%	15%	45.9%
離島の振興	28.1%	15%	49.6%
連携の推進	31.2%	12.2%	56.3%
平均	29.5%	14.5%	52.0%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	市民局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進				課・室名	協働コミュニティ推進課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化				電話番号	087-839-2277
			A	B			

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
各地域コミュニティ協議会及び高松市コミュニティ連合会の活動を支援することにより組織強化を促すほか、地域コミュニティ活動の拠点整備を促進することにより、地域コミュニティの自立・活性化を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	法人化したコミュニティ協議会の数	協議会		4	4	6	80.0%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				40点
	各地域コミュニティ協議会活動の自立・活性化を促進するため、財政支援等を行うことで組織強化を促したが、目標を達成することができなかった。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	自治会加入率	%		49.1	46.9	46.9	90.2%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				45点
	従来の自治会加入促進活動に加え、市政出前ふれあいトークを活用し、既存の自治会の在り方について周知・啓発に取り組んだが、目標を達成することができなかった。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		15位 (28.8%)	14位 (35.2%)
不満度		24位 (19.7%)	19位 (15.9%)
重要度		38位 (54.1%)	37位 (56.2%)

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	831,203	1,188,911	1,187,905	2,254,616
人件費	111,023	120,508	163,278	163,278
トータルコスト	942,226	1,309,419	1,351,183	2,417,894

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

地域コミュニティ協議会の中核組織である自治会の加入率低下に伴う地縁力の低下が課題となっている。

また、地域コミュニティ組織の構築からおおむね20年が経過する中で、地域を取り巻く環境は、高齡化を始め、住民意識の多様化などが進んでおり、地域活動の担い手不足のほか、各地域コミュニティ協議会で活動への理解や取組状況に温度差が生じている。

施策推進の方向性

魅力ある自治会に近づくための効果的な施策を検討し、自治会の再生及び活性化に向けて、行政と地域が共に新たな自治会再生支援策に取り組む。

また、（社）高松市コミュニティセンターの改修を行う。また、（社）高松市コミュニティセンターの改修を行う。

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		コミュニティ活動拠点の充実				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	コミュニティセンター整備事業	98%	A	継続	施設整備進捗割合	100.0%
	(評価対象外) 学校跡施設管理運営事業					
	(評価対象外) 集会所施設管理事業(国分寺総合センター分)					
	(評価対象外) 集会所施設管理事業(牟礼総合センター分)					
	(評価対象外) コミュニティセンター管理運営事業					
	自治会集会所整備支援事業	98%	A	継続	自治会集会所改修率	99.7%
	(評価対象外) 集会所施設管理事業(香川総合センター分)					
	(評価対象外) 学校跡地・跡施設管理運営事業					

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

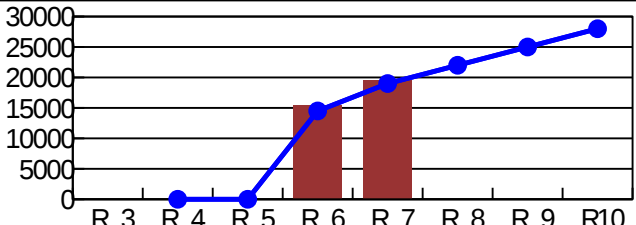
総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	市民局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進				課・室名	協働コミュニティ推進課
	施策	参画・協働の推進				電話番号	087-839-2277

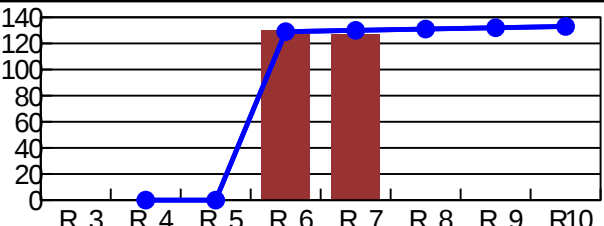
1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
市民活動センター機能の充実や協働の担い手づくり等協働事業の充実、広聴・広報活動の充実を図ることにより、市民と行政との参画・協働によるまちづくりの推進を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	たかまつホットLINEの登録者数	人		15,486	19,606	22,000	103.2%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	「たかまつマイセーフティマップ」と連携し、利用者の位置情報から現在地付近の避難所を検索する機能を追加した。また、市公式LINEの周知用ちらし・POPの制作・設置を行ったことにより、目標を達成した。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	市と市民活動団体等との協働取組数	件		130	127	131	97.7%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				49点
	市職員や地域コミュニティ協議会職員等に対し、協働の必要性や重要性についての研修を行うなど、市全体での協働に対する知識の向上に対する取組を実施した。新規取組が増加したものの、事業の休止や事業の見直しなどにより、事業数が減少したため、目標値を下回った。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		41位（ 16.7% ）	36位（ 23.3% ）
不満度		29位（ 17.6% ）	23位（ 15.0% ）
重要度		43位（ 44.0% ）	43位（ 45.9% ）

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	158,407	168,429	159,955	245,573
人件費	81,437	88,780	88,756	93,553
トータルコスト	239,844	257,209	248,711	339,126

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

[illegible]

施策推進の方向性

【七更【活】】市【民】局【一】の【実】充【局】充【策】を【充】民【タ】な【政】動【】民【機】を【デ】す【市】民【能】図【ジ】る【活】動【強】化【職】媒【に】よ【リ】タ【コ】ス【動】画【の】等【し】の【活】動【め】民【用】民【の】等【し】の【活】動【を】令【の】市【政】支【和】協【報】へ【支】援【7】年【意】識【活】動【参】中【か】の【醸】造【を】間【支】指【成】化【促】援【定】及【に】進【組】管【び】取【る】組【理】「協【働】組【む】と【者】協【働】む【し】制【度】の【担】と【の】を【担】い【も】役【導】い【手】に【割】入【し】、【を】し【た】の【市】果【た】の【育】長【せ】協【成】ま【る】働【を】ち【よ】事【図】か【う、及【び】講【座】等【の】市【民】活【動】等【の】広【聴】

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		市民参画の推進				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	吹奏楽団事業	86%	A	継続	聴衆者数（参加者数）	92.6%
	テレビ放送等広報事業	70%	B	改善	民放テレビ広報番組視聴率（年平均）	76.7%
					C A T V 市政広報番組視聴率	64.9%
	ホームページ等管理運営事業	91%	A	改善	インターネット広報動画再生件数	109.1%
					市ホームページ（サイト全体）へのアクセス数	92.5%
	広報高松等発行事業	86%	A	継続	広報高松を読んでいる人の割合	85.1%
	（評価対象外）広報事務					
	市民相談事業	96%	A	継続	法律相談利用者の満足度	101.2%
○	デジタル広報推進事業	96%	A	継続	ホームページリニューアルの進捗率	100.0%
取組方針						
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	政策局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進				課・室名	地域活力推進室
	施策	離島の振興				電話番号	087-839-2143
			A	A			

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市民等（各島の住民・各島への渡航者）

意図（どのような状態にしたいのか）
女木島、男木島及び大島のそれぞれの特性をいかした島外の人々との交流促進により、交流人口や関係人口、定住人口の拡大を図る。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	定住人口（女木島・男木島）	人		263	239	281	85.4%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				43点
	移住定住促進、関係人口創出・拡大の取組を推進したものの、離島地域の高齢化による自然減のため、目標値を達成することができなかった。						目指す方向 ↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	定期航路輸送者数（女木島、男木島、大島）	人		313,239	483,703	316,000	91.3%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				46点
	前年と比較し瀬戸内国際芸術祭開催による定期航路利用者数の増加はあったものの、目標値を達成することができなかった。						目指す方向 ↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		34位（ 20.2% ）	28位（ 28.1% ）
不満度		30位（ 17.0% ）	23位（ 15.0% ）
重要度		42位（ 46.9% ）	42位（ 49.0% ）

4 施策に係るコスト

（千円）

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	15,947	15,739	18,839	21,327
人件費	40,269	29,336	14,073	12,634
トータルコスト	56,216	45,075	32,912	33,961

施策の推進状況と課題	瀬戸内国際芸術祭の開催等により、各島への渡航者が増加傾向にあるが、芸術祭期間以外においても、「ローカル10,000プロジェクト」の活用や、「こども図書館船ほんのもり号」の寄港に合わせたイベントの実施など、離島航路の利用促進と島外との交流促進が図れるような施策の充実に努める。 また、「大島を未来へつなぐ会」で入所者自治会の心情に寄り添いながら、各委員からの活発な意見を参考に大島振興方策の見直しに取り組む。
------------	---

施策推進の方向性	
各島において更なる交流・定住を促進するため、多様な主体との連携・協働により各島の魅力をいかした情報発信やにぎわいの創出に取り組むことで、本市離島地域への関心を高めていく。	
また、令和7年度に設置した「大島を未来へつなぐ会」にて、委員から大島の未来について活発な意見をいただきながら継続して協議を行い、国と連携を図りながら令和8年度末を目途に大島青松園の将来構想・永続化の具体化と大島振興方策の見直しを行う。	

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		多様な交流の促進				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
○	大島振興方策推進事業	92%	A	継続	大島交流イベント参加者数（年間総数）	142.6%
	（評価対象外）男木交流館管理運営事業					
○	離島等振興事業	60%	B	改善	女木・男木・塩江観光施設等利用者数	59.1%
取組方針						
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	政策局
	政 策	地域社会を支える連携・協働の推進				課・室名	政策課
	施 策	連携の推進				電話番号	087-839-2135
			A	A			

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
国、県、県内市町、産学など

意図（どのような状態にしたいのか）
広域的な課題を始め、基礎自治体や新たな都市圏域の在り方について調査・研究を進めるなど、効果的な連携を推進する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	多様な主体と連携・協力している取組数	件		299	320	310	152.4%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	大学・企業等と連携し、目標値の210件を上回る、320件の取組を実施し、目標を達成した。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン成果指標の達成率	%		84.7	86.7	89.3	103.0%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	圏域の活性化のため、様々な連携事業に取り組み、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンにおいて設定した成果指標の達成率が、86.7%となり、目標を達成した。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		29位 (22.9%)	22位 (31.2%)
不満度		36位 (15.2%)	35位 (12.2%)
重要度		34位 (57.4%)	36位 (56.3%)

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	1,372	815	808	965
人件費	10,914	17,756	12,554	12,554
トータルコスト	12,286	18,571	13,362	13,519

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

瀬戸・高松広域連携中核都市圏ビジョン推進事業については、活力ある圏域づくりを目指し、様々な連携・事業に取り組む必要である。

企業等との連携については、新たに4者と包括連携協定を締結した。引き続き、地域課題の解決を図るため、新たな連携事業に取り組む必要がある。

施策推進の方向性

神戸市等との広域都市間連携や、国・県・産・学との連携により、地域課題の解決を図る。
また、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内の市町と連携して、連携事業を着実に推進することによ
り、人口減少、少子・超高齢社会においても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済の維持に努め
る。
さらに、大学、企業等の多様な主体との連携事業の拡充を図り、様々な地域課題の解決を図る。

6 施策を構成する事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		香川県等との連携の推進				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	(評価対象外) 広域都市連携事業					
取組方針		多様な主体との連携の推進				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
	多様な主体との連携推進事業	85%	A	改善	包括連携協定を結ぶ県内大学等入学生の 本市出身者割合	86.5%
					包括連携協定を結んでいる企業との連 携・協力事業数	112.8%

令和 8 年度 高松市政策評価表（令和 7 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	総合評価
	政 策	自立的で推進力のある行財政運営の確立	A

1 政策の概要

産学民官の多様な主体との連携により、行政の内部だけでなく、地域全体のデジタル化を推進することで、行政運営の効率化や行政サービス提供時の市民の利便性向上、地域課題の解決、地域経済の活性化を実現します。
デジタル技術の積極的な活用により、事業の見直しや優先順位の整理、公共施設の集約化や複合化を進め、効率的・効果的な行政運営を行います。
また、自主財源の更なる確保や特定財源の効率的な活用に加えて、職員の育成や評価、庁内における働き方改革を適切に行い、質の高い行政サービスを提供します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
スマートシティの推進	75%	B
行財政運営の基盤強化	88%	A
平均	82%	A

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
スマートシティの推進	24.7%	19%	52.3%
行財政運営の基盤強化	24.6%	17.6%	62.6%
平均	24.7%	18.3%	57.5%

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	総務局
	政策	自立的で推進力のある行財政運営の確立				課・室名	デジタル戦略課
	施策	スマートシティの推進				電話番号	087-839-2172
			B	A			

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）

市民、庁内手続等

意図（どのような状態にしたいのか）

多様な主体と連携しながらデジタル技術やデータを活用し、地域課題を解決する。また、本市における行政手続に関する市民の利便性向上及び庁内の業務効率化を進める。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	デジタル活用により解決した地域課題の件数	件		1	1	2	50.0%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				25点
	こどもの学びを地域で支える、地域学習プラットフォームの機能強化を行い、シビックプライドの醸成等に寄与した。 このほか、スマートシティたかまつ推進協議会において新たなワーキンググループが設置され、活動を開始したが、地域課題の解決にまでは至っていない。						目指す方向 ↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	たかまつデジタル市役所での申請件数	件		3,162	2,269	2,300	103.1%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				50点
	昨年度から申請件数は減少したものの、目標を達成することができた。また、たかまつデジタル市役所に掲載している年度末時点での手続数は前年度から増加し、本市の行政手続に関する利便性が向上した。						目指す方向 ↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		40位（ 17.3% ）	33位（ 24.7% ）
不満度		15位（ 21.2% ）	11位（ 19.0% ）
重要度		41位（ 49.0% ）	41位（ 52.3% ）

4 施策に係るコスト

(千円)

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	163,705	1,229,780	1,562,192	1,964,676
人件費	102,367	228,512	246,276	244,678
トータルコスト	266,072	1,458,292	1,808,468	2,209,354

施策の推進状況と課題	
産学民官の多様な主体で構成されている、スマートシティたかまつ推進協議会において新たなワーキンググループが設置され、活動を開始したが、より多くの地域課題の解決に向けて、更なる産学民官の連携強化が求められている。	
また、人口減少や少子高齢化、行政における人材不足、生成AIを始めとするデジタル技術の急速な進展など、目まぐるしく変化する環境の中で、更なる住民の利便性の向上と行政運営の効率化を図るため、業務の在り方を根本的に変革する必要がある。	

施策推進の方向性

スマートシティたかまつ推進協議会との連携を更に強化するほか、かがわD X L a b に積極的に参画することなどにより、地域課題の解決につながる取組を着実に推進する。

また、高松市D X 人材育成方針に基づきD X サポーターを育成するほか、全職員を対象としたマインドセット研修を行うなど、D X 人材の育成に取り組む。さらに、窓口課において、本市が目指すべき窓口の姿を明確化した上で、B P Rを継続して実施し、課題に対する適切なソリューションの導入により、窓口D Xを推進する。

[illegible]

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		自治体デジタルトランスフォーメーション（ＤＸ）の推進				
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度
○	自治体ＤＸ推進事業	96%	Ａ	拡充	行政手続のデジタル化実施件数	112.1%
	社会保障・税番号制度推進事業	100%	Ａ	継続	マイナンバーカード保有枚数率	100.9%
	（評価対象外）情報処理システム管理運営事業					
取組方針						
重点	事務事業名	得点率	総合	方向性	成果指標	達成度

令和 8年度 高松市施策評価表（ 年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	総合評価	下位事務事業平均	評価担当	局名	総務局
	政策	自立的で推進力のある行財政運営の確立				課・室名	行政改革推進室
	施策	行財政運営の基盤強化				電話番号	087-839-2160
			A	A			

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
多様化・複雑化する市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応した行財政運営により、持続可能で質の高い行政サービスの提供を目指す。また、職員一人一人が、限られた行財政資源を効率的・効果的に活用する高い変革意識・チャレンジ精神を持つことが求められる。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	行財政改革計画の実施項目の達成度	%		84.6	84.4	100	84.4%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				42点
	計画の取組項目77件のうち、社会情勢の変化等により目標を達成できなかった事業があったことなどから、達成度が「A（80%以上達成）」の事業割合については、65件となり目標を達成することができなかった。						目指す方向
							↑

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	目標達成度
			R 5	R 6	R 7	R 8	
	高松市に誇りと愛着を持って仕事をしている職員の割合	%		88.9	87.4	100	92.0%
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移				46点
	高松の魅力について再認識するとともに、誇りと愛着（シビックプライド）をもって職務に望めるよう、「郷土・高松を知る研修」を実施したものの、主に中堅職員について割合が低い状態が続いていることから目標を達成することができなかった。						目指す方向
							↑

3 市民満足度調査の状況

	R 5	R 6	R 7
満足度		27位（ 23.9%）	34位（ 24.0%）
不満度		11位（ 23.2%）	14位（ 17.0%）
重要度		23位（ 66.8%）	29位（ 62.0%）

4 施策に係るコスト

（千円）

	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
事業費	74,962,337	82,922,511	86,050,454	82,696,321
人件費	4,293,933	4,379,223	4,464,167	4,433,734
トータルコスト	79,256,270	87,301,734	90,514,621	87,130,055

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
高松市行財政改革計画に基づき、デジタル技術を活用した事務の効率化等に取り組むことで、市民サービスの向上に努めている。また、事業の選択と集中、ふるさと納税やクラウドファンディング等により、更に自主財源を確保しながら、国庫補助金などの有利な財源を積極的に活用し、将来を見据えた持続可能な行財政運営を行う必要がある。 さらに、職員一人一人が倫理を遵守し、やりがいを持てるよう、職務に対する意識向上に努める必要がある。

施策推進の方向性
多様化・複雑化する市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応できる、効率的かつ、健全で信頼される行財政運営の確立を目指す。 また、高松市職員人財育成ビジョンに基づき、職員力の向上を図るとともに、高松市職員のためのコンプライアンス推進施策の各種取組を確実に実施し、信頼される職員を育成するほか、人事評価制度を活用して組織の活性化を図る。

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		職員力の向上				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外)人材育成事業					
	(評価対象外)人事管理事務					
	コンプライアンス推進事務	77%	B	継続	コンプライアンスを理解している職員の割合 懲戒処分者数の減少率(対平成26年度比)	102.3% 33.3%
	(評価対象外)職員福利厚生事務					

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		健全な財政運営の推進				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外)市債等管理事務					
	(評価対象外)固定資産税等課税事務					
	(評価対象外)固定資産評価審査委員会事務					
	(評価対象外)市民税等課税事務					
	(評価対象外)財政管理事務					
	(評価対象外)収納管理事務					
	ふるさと高松応援寄附促進事業	85%	A	継続	ふるさと納税寄附件数	77.9%
					ふるさと納税寄附金額	90.2%
	(評価対象外)基金管理事務					
	(評価対象外)予備費管理事務					
	競輪事業	92%	A	継続	車券発売収入	130.9%
					競輪場再整備進捗率	100.0%
	(評価対象外)会計管理事務					
	(評価対象外)債権管理適正化推進事業					

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		効率的・効果的な行政運営の推進 (1/3)				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外) 情報公開・個人情報保護事業					
	(評価対象外) 牟礼浄化苑多目的広場管理事業					
	(評価対象外) 旧高松テルサ管理運営事業					
	(評価対象外) 組織機構・事務所管等の見直し事業					
	(評価対象外) 企画調整事務					
	(評価対象外) 一般行政事務(総務課分)					
	(評価対象外) 議員報酬、市長及び副市長の給料等審議会事務					
	(評価対象外) 市政功労者表彰事務					
	ファシリティマネジメント推進事業	80%	A	継続	再編整備実施計画策定済みの施設数	79.2%
	(評価対象外) たかまつ創生総合戦略推進事業					
	(評価対象外) 公文書館管理運営事業					
	(評価対象外) 支所等管理運営事業(山田総合センター分)					
	(評価対象外) 支所等管理運営事業(仏生山総合センター分)					
	(評価対象外) 仏生山交流センター管理運営事業					

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		効率的・効果的な行政運営の推進 (2/3)				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外) 行政不服審査事務					
	(評価対象外) 行政改革推進事業					
	(評価対象外) 議会事務					
	(評価対象外) 工事請負契約等事務					
	(評価対象外) 文書事務					
	(評価対象外) 庁舎等管理事務					
	(評価対象外) 公有財産管理事務					
	(評価対象外) 自動車管理事務					
	(評価対象外) 総合計画推進事業					
	(評価対象外) 公平委員会事務					
	(評価対象外) 支所等管理運営事業(協働コミュニティ推進課分)					
	(評価対象外) 戸籍・住民基本台帳事務					
	(評価対象外) 選挙管理委員会事務					
	(評価対象外) 選挙執行事務					

6 施策を構成する事務事業の状況

取組方針		効率的・効果的な行政運営の推進 (3/3)				
重点	事務事業名	得点率	総合評価	今後の方向性	成果指標	目標達成度
	(評価対象外) 支所等管理運営事業(香川総合センター分)					
	(評価対象外) 支所等管理運営事業(香川総合センター分)					
	(評価対象外) 支所等管理運営事業(国分寺総合センター分)					
	(評価対象外) 支所等管理運営事業(国分寺総合センター分)					
	(評価対象外) 支所等管理運営事業(牟礼総合センター分)					
	(評価対象外) 支所等管理運営事業(牟礼総合センター分)					
	(評価対象外) 統計調査事業					
	(評価対象外) 統計調査事業					
	(評価対象外) 監査事務					
	(評価対象外) 監査事務					
	(評価対象外) 市有建築物設計監理監督事務					
	(評価対象外) 市有建築物設計監理監督事務					
	自治推進事業	92%	A	継続	パブリックコメント1件当たりの意見数	127.6%
	(評価対象外) 支所等管理運営事業(勝賀総合センター分)					
	(評価対象外) 支所等管理運営事業(勝賀総合センター分)					
	(評価対象外) 一般行政事務(秘書課分)					
	(評価対象外) 一般行政事務(秘書課分)					